108Mbps無線LANブロードバンドルータ

BRC-W108G

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

108Mbps無線LANブロードバンドルータ

BRC-W108G

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
- 本製品パッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合があります。通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

- 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。
本マニュアルにおける記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

User's Manual　Version 1.2　　No.PMN-05-1202-NW-BRC-W108G

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

⚠ 警告

■ 無線機器に関して

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。
列車内など、人と人が近接する可能性のある場所では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている方と近接することで、万一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

・医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示にしたがってください。
医療機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは万一にでも各種医療機器へ影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。本製品の電波出力は規定に沿ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、前述の心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示にしたがってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示にしたがってください。
交通機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは各種交通機関の制御装置や機器などに影響を与える恐れを防ぐためです。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は機内でご利用にならないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

・電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。
電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

■ 設置及び保管に関して

・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 電波に関して

・本製品の無線LANの周波数帯は、医療機器、電子レンジなどの産業・科学機器や工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。

・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2.4 DSOF 4

■ 取り扱いに関して

・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。

・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。

・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。

・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

※ 付属品のCD-ROM は日本語版OS 以外の動作保証はしていません。
※ 付属品のCD-ROM はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

目次

本製品を安全にご利用いただくために 3

第1章 はじめに

1. 概要 9
2. 特長 10
3. 梱包内容の確認 14
4. 各部の名称 15
5. 対応機器 18
6. 設定の初期化 19

第2章 ハードウェアの接続

1. 設置場所について 21
2. 設置する 22
3.ADSLモデム/Bフレッツ用回線終端装置/ケーブルモデムとの接続 24
4.パソコンとの接続 26
5. 電源の接続 27

第3章 パソコンの設定

1. パソコンのネットワーク設定を行う 30
   - Windows® XP の場合 30
   - Windows® 2000の場合 32
   - Windows® Me/98SE/98の場合 34
   - Mac OS® Xの場合 37
   - Mac OS® 9.x/8.xの場合 38
2. 本製品とパソコンとの接続を確認する 39
   - Windows® XP の場合 39
   - Windows® 2000の場合 41
   - Windows® Me/98SE/98の場合 42
   - Mac OS® Xの場合 44
   - Mac OS® 9.x/8.xの場合 45

第4章 インターネットへの接続

1. インターネット接続方法の確認 ……47
2. PPPoE接続で設定する場合 ……51
3. PPPoE接続でIPアドレスを固定で設定する場合 ……57
4. PPPoE接続の削除 ……60
5. PPPoE以外の自動取得で設定する場合 ……62
6. PPPoE以外でIPアドレスを固定で設定する場合 ……67
7. PPPoE接続でマルチセッション接続を設定する場合 ……69
8. Unnumbered接続を設定する場合 ……77
9. PPPoE接続でUnnumbered接続を設定する場合 ……79
10. PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を設定する場合 ……82
11. パソコンのIPアドレス設定 ……84

付録A ネットワークQ&A

1. ブロードバンドルータの色々な「？」について ……87
2. 設定画面 ……90
3. インターネットにアクセスできない ……96
4. その他 よくあるお問い合わせについて ……104

付録B 設置環境への注意 ……107

付録C 仕様 ……109

ユーザー登録について ……116

弊社へのお問い合わせ ……117

質問表 ……118

第1章

はじめに

1 概要

本製品はADSL、FTTHおよびCATV（ケーブルTV）接続を使った高速インターネット接続に対応し、ハードウェアVPN機能を搭載したマルチユースVPNルータです。CPUにはインテル® 社製高性能ネットワークプロセッサIXP422-266MHzを採用し、従来のルータに比べ格段に速い処理能力を有しています。
また、IEEE802.11g準拠の無線LAN機能を有しており、既存の有線ネットワークを利用した無線LANをシームレスに構築することが可能です。

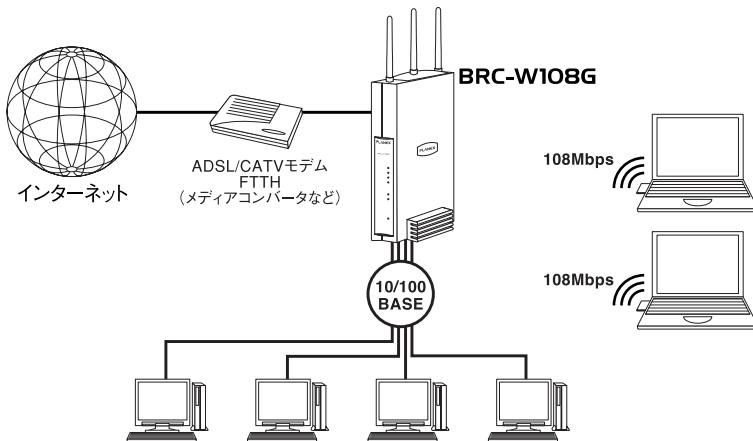



図1-1　接続図

注意

プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとの契約内容についてご確認ください。

2 特長

●IXP422-266MHz搭載

インテル® 社製高性能ネットワークプロセッサIXP422-266MHzによる高速ルーティング。

●ハードウエアVPN機能

IPSec、PPTPサーバ機能、PPTPクライアント機能に対応し、IPSec（3DES）使用時には約42Mbpsの高速VPNを実現します。

●PPPoEクライアント機能

Bフレッツ、フレッツADSLに対応し、インターネット接続時にフレッツ接続ツール等を使用せずに簡単にインターネットに接続できます。

●PPPoEマルチセッション機能

複数のプロバイダを接続先として登録し、同時に接続することができます。また、複数の接続先を登録した場合、デフォルトゲートウェイの変更や接続先の優先順位を変更することができます。本製品の最大セッション数は４になります。

●Unnumbered（複数グローバルIPアドレス）機能

ISP事業者提供の複数グローバルIPアドレスサービスに対応し、本製品のLAN側にグローバルアドレスのホストとプライベートアドレスのホストを共存させることができます。
また、特別な設定無しでプライベートアドレスのホストからグローバルアドレスのホストへ通信を行うことができます。

●PPPoE以外の接続

本製品はPPPoE以外のサービスに対応しています。PPPoE以外の自動取得、固定IPアドレス、Unnumberedを設定することができます。

●LAN側IPアドレス設定

本製品のLAN側IPアドレスは192.168.1.1になります。お使いのLAN環境に合わせてLAN側のIPアドレスを変更することができます。

●NAPT機能

複数のプライベートアドレスを１つのグローバルアドレスに変換します。この機能によりLAN側に複数のパソコンがある場合でも、簡単にインターネットに接続できます。

また、NAPT機能を無効にすることで、ローカルルータとして動作させることもできます。

●DHCPサーバ機能

LAN側のパソコンやネットワーク機器に動的にIPアドレスを割り当てることができます。

また、割り当てるIPアドレスの範囲、割り当て時間を自由に設定でき、特定の機器にだけ常に同じIPアドレスが割り当てられるよう設定することもできます。

●簡易DNSサーバ機能

LAN側のパソコンやネットワーク機器のホスト名とIPアドレスを管理します。

●ルーティング機能

本製品と他のネットワーク機器のルーティング情報を静的に設定できるほか、RIPv1/RIPv2に対応したダイナミックルーティングを使用し、動的に経路情報を設定することができます。

●ＵＰｎＰ

Universal Plug and Play Internet Gateway Device v1.0に準拠し、Windows® Messenger Ver5.0やMSN® Messenger Ver4.8などのUPnPアプリケーションを簡単に利用することができます。

●SPI（ステートフル・パケット・インスペクション）機能

LAN側から送信したデータのセッションログを保存し、WAN側から送信されたデータと照らし合わせ矛盾がある場合はそのパケットを遮断し、不正なパケットや攻撃を防ぎます。

●セキュリティレベル機能

本製品は、簡単にセキュリティ機能を設定するための３段階のレベルを用意しています。必要に応じて設定をカスタマイズでき、LANからインターネット、インターネットからLANへのセキュリティを柔軟に設定することができます。

●パケットフィルタリング機能
本製品のパケットフィルタリング機能は、本製品が受信したパケット、送信したパケットに対して、予め設定してあるルールに従って、パケットの通過、遮断を行います。
フィルタリングルールは各インターフェイスごとにIPアドレス、ポート番号、プロトコルが可能で、作成したフィルタリングルールはユーザ定義サービスとして保存が可能です。

●リモートアクセス機能
本製品はセキュリティを保つために、WAN側からの設定画面のアクセスは制限されています。遠隔地から本製品の設定を変更する場合は、リモートアクセス機能を利用することで、WAN側から設定画面にアクセスができ、本製品の保守、管理を行うことができます。
また、オプション機能使用時に必要になるポートの開放を、リモートアクセス機能の設定欄から簡単に行うことができます。

●URLフィルタ
LAN側のパソコンから観覧を禁止したいWEBサイトを登録することで、特定のWEBサイトへのアクセスを制限することができます。

●セキュリティログ機能
本製品は、LAN側からインターネット、インターネットからLAN側、設定画面へのアクセスのログを、許可した接続、拒否した接続ごとに保存することができます。
保存したログ内容は、セキュリティ設定画面から簡単に確認することができます。

●E-Mail通知機能
本製品に通知先のE-Mailを登録することで、セキュリティやシステムにイベントが発生した時に自動的に通知することができます。

●Syslog機能
本製品はセキュリティ情報、システム情報を予め設定してあるSyslogサーバにログ情報を送信することができます。

●ローカルサーバ機能
WAN側からアクセスがあった時に、予め設定してあるLAN側の特定のパソコンへパケットを転送することで、LAN側に設定してあるサーバやサービスをWAN側に公開することができます。

●バーチャルコンピュータ

バーチャルコンピュータ機能を使用すると、LAN側にある1台のパソコンをWAN側に公開することができます。ローカルサーバ機能で、設定するためのポート情報が分からない場合、1台のパソコンに全てのサービスを設定しWAN側に公開したい場合などに利用できます。

●ダイナミックDNS機能

本製品は「www.dyndns.org」「www.dp-21.net」のダイナミックDNSサービスに対応しています。ダイナミックDNSの設定を行うことで、WAN側のIPアドレスをダイナミックDNSサーバに一定間隔で通知します。これにより、回線切断や再接続でWAN側のIPアドレスが変わってしまった場合でも、固定のホスト名が利用できます。

●無線LAN機能

IEEE802.11g準拠の無線LAN機能を利用できます。
セキュリティは64/128bit WEP、MACアドレスフィルタリング機能を有し、SSIDを隠す機能により、第三者からの無断アクセスを防ぎます。

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

●BRC-W108G本体
●専用ACアダプタ
●縦置き用スタンド
●UTPストレートLANケーブル（1m）
●安全に関する説明書
●かんたん設定ガイド
●詳細マニュアル（CD-ROM）
●保証書

付属品が足りないときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

■本体前面

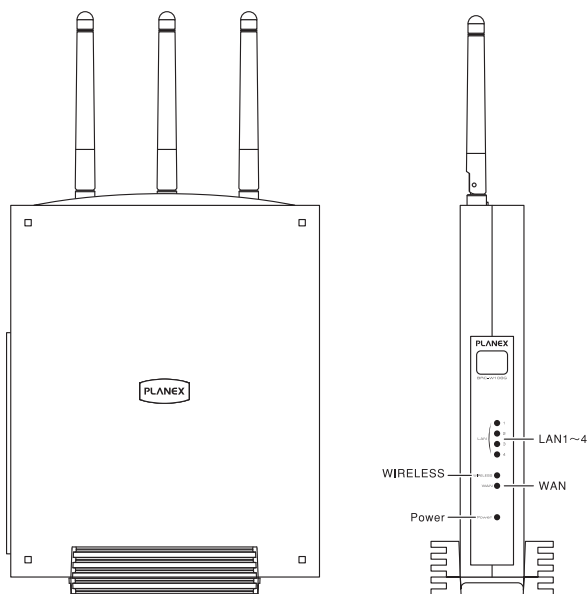



図1-2 BRC-W108G本体前面

【LED表示】

名称	動作
LAN1〜4	LANの機器が通信するときに点滅します。
WIRELESS	無線の機器が通信するときに点滅します。
WAN	インターネットへ通信するときに点滅します。
Power	電源を投入すると点灯します。

■本体背面

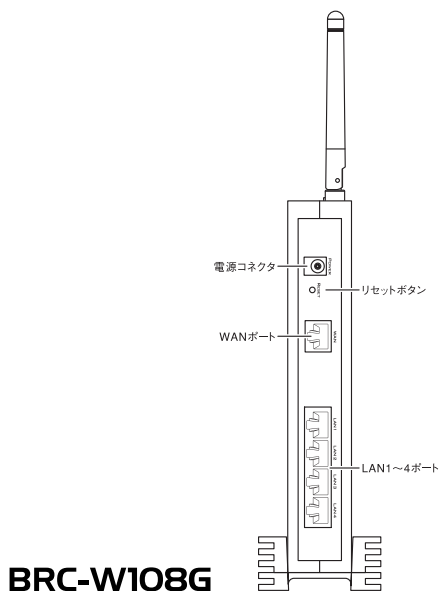



図1-3 BRC-W108GV本体背面

名称	動作
電源コネクタ	付属の専用ACアダプタを接続します。
リセットボタン	1〜3秒間押すと再起動します。 4秒以上押すと工場出荷時の設定に戻します。
WANポート	LANケーブルで本製品とモデムを接続します。
LAN1〜4ポート	LANケーブルで本製品とコンピュータを接続します。

■本体裏面

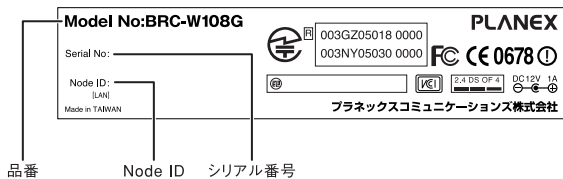



図1-4 BRC-W108G本体裏面

名称	説明
Model Name	製品名です。
Serial No.	シリアルナンバーです。
Node ID＜LAN＞	本製品のLANポートのMACアドレスです。

5 対応機器

■対応パソコン

●Windows® 98/98SE/Me/2000/XPを搭載し、Ethernet（RJ-45）ポートを装備したパソコン
●MacOS® 8.x/9.x/Xを搭載し、Ethernet（RJ-45）ポートを装備したパソコン

■ネットワーク機器

本製品では以下のネットワーク機器が必要になります。
●ツイストペアケーブル（本製品に接続するコンピュータの台数分）

■WEB設定画面について

本製品はWEBブラウザで設定を行います。
パソコンに以下のWEBブラウザがインストールされている必要があります。
また、WEBブラウザでJavaScript® が使用できるかどうか、設定を確認してください。
●Windows® の場合は、Microsoft® Internet Explorer5.0以上またはNetScape Navigator® 6.0以上

●MacOSの場合は、Microsoft® Internet Explorer5.0以上またはNetScape Navigator® 6.0以上

6 設定の初期化

IPアドレスやパスワードを忘れてしまった時や、間違った設定をしてしまい設定画面にアクセスできなくなったときは、本製品の設定を初期化することで購入時の状態に戻すことができます。

注意

- ***設定の初期化を行うと、それまで設定されてた値は全て消去され購入時の状態に戻りますのでご注意ください。***
- ***初期化を実行する前に予め本製品に接続してるケーブルをポートから外しておくことを推奨します。***
- ***初期化が完了するまで、本製品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。***

■本製品の初期化手順

1. 本製品の電源アダプタを抜きます。
2. 本製品のリセットボタンを押しながら、電源アダプタを差し込みます。
3. PowerLEDが点滅します。約10秒間リセットボタンを押し続けます。
4. PowerLEDが点灯に変わったら初期化は完了です。

ハードウェアの接続

章では、本製品とADSL/ケーブルモデム等、パソコンとの接続手順について説明します

1 設置場所について

本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りください。

●湿気の多い場所には設置しないでください。

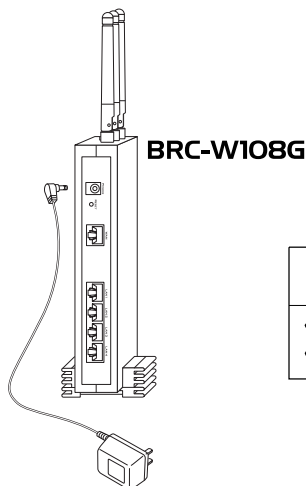
●チリやほこりの多い場所には設置しないでください。

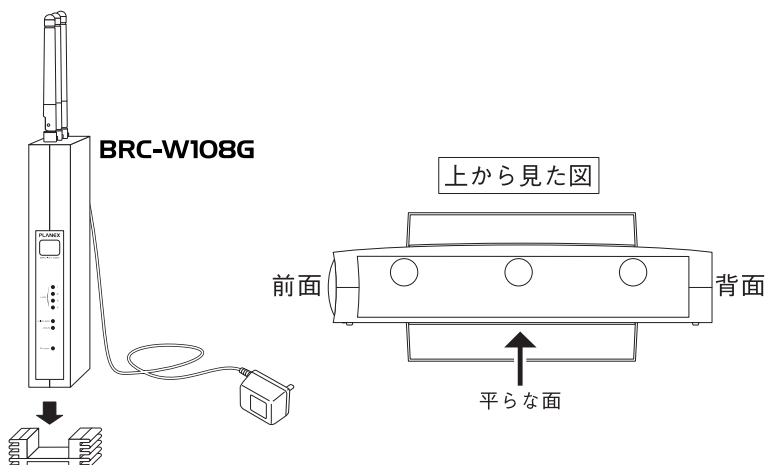
●直射日光の当たる場所や温度の高い場所には設置しないでください

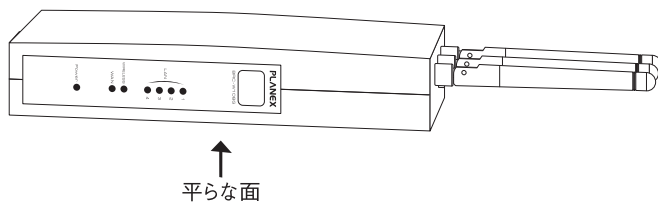
●内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください

2 設置する

■電源アダプタのコネクタを差し込む

本製品の電源アダプタ接続端子に電源アダプタのコンセントを差し込んでください。
電源アダプタは、まだ電源コンセントに差し込まないでください。

■縦置きする

本製品は、デスクトップなどの平らな場所に設置して使用してください。
本体を付属の縦置き用スタンドに図のようにセットしてください。

■横置きする

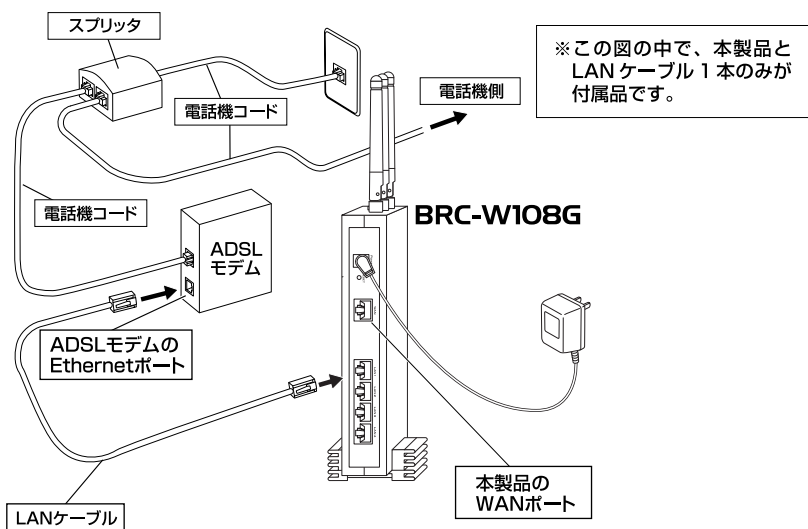
図のように本体の平らな面が下になるように設置してください。

3 ADSLモデム/Bフレッツ用回線終端装置/ケーブルモデムとの接続

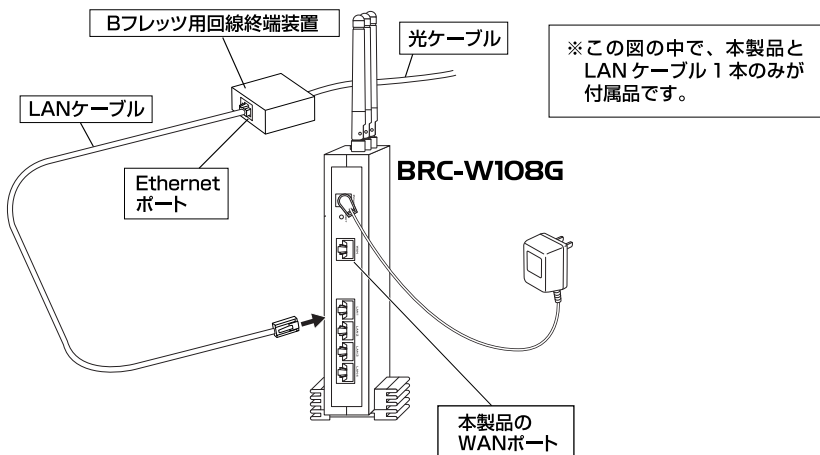
■接続前の準備

●ADSLモデム/Bフレッツ用回線終端装置/ケーブルモデムの電源は切ってください。
電源スイッチがないタイプはコンセントからACアダプタを抜いてください。

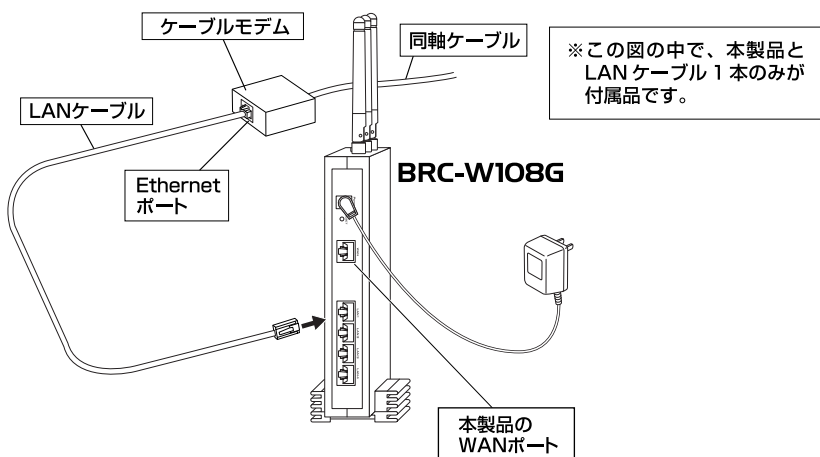
●本製品付属のツイストペアケーブルをご用意ください。

■ADSLモデムとの接続

本製品のWANポートと、ADSLモデムのEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。

■Bフレッツ用回線終端装置との接続

本製品のWANポートと、“Bフレッツ”用回線終端装置のEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。

Bフレッツ用回線終端装置との接続

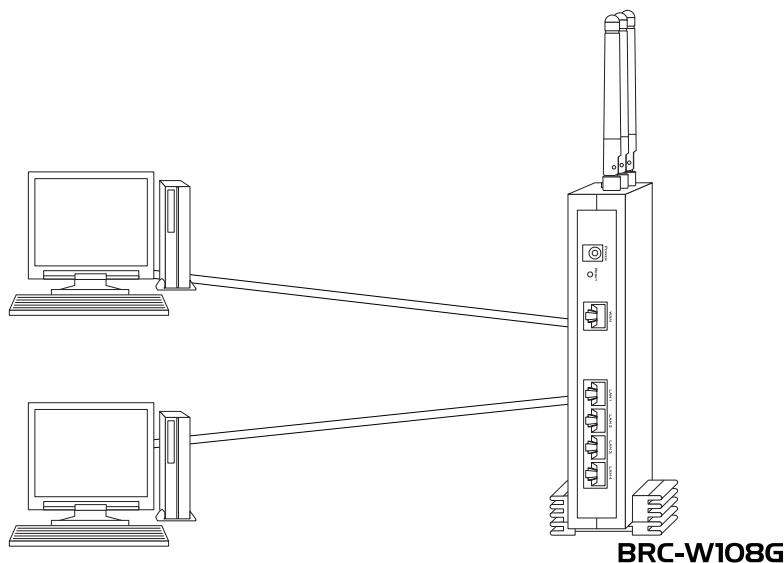
■ケーブルモデムとの接続

本製品のWANポートと、ケーブルモデム用回線終端装置のEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。

ケーブルモデムとの接続

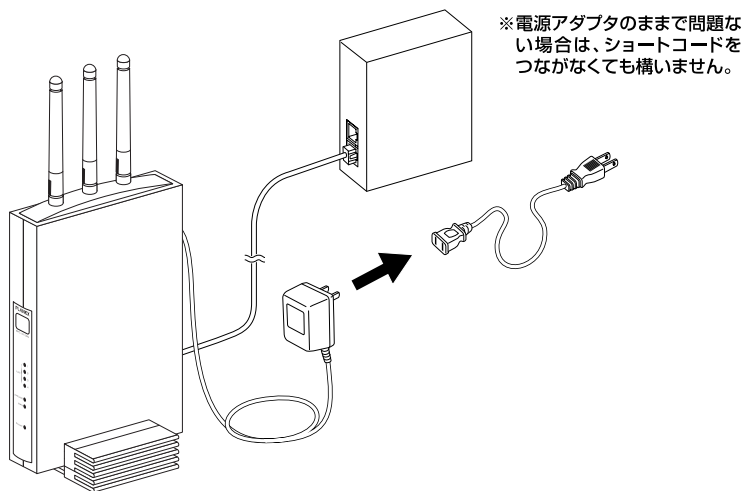
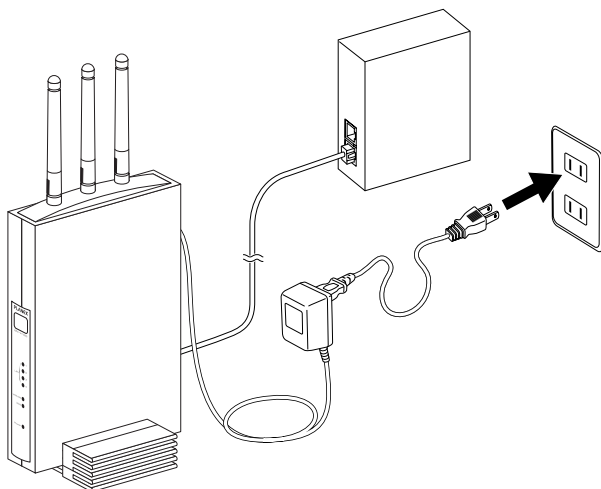
4 パソコンとの接続

本製品のLAN側ポートは結線のタイプを自動認識するAuto MDI/MDI-Xに対応しています。
接続するパソコンの数だけツイストペアケーブルをご用意ください。

1. ツイストペアケーブルの一端を本製品のLAN側ポートに接続します。

2. ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45ポートに差し込みます。
   このとき、ケーブルのコネクタがポートの奥までしっかりささせってるか確認してください。

5 電源の接続

電源アダプタを電源コンセントに差し込んで、電源をONにします。その後正常に通信が行われているか、ランプを見て確認します。

1. 電源アダプタのままでは電源コンセントに差し込みにくい場合、電源アダプタに付属のショートコードをつなぎます。

2. 電源アダプタまたはショートコードを電源コンセントに差し込みます。

3. 電源がONになると、PowerLEDが点灯に変わります。

パソコンの設定

本章では、インターネットに接続するために、パソコンのネットワーク設定を確認し必要に応じて設定を変更します。なお、本製品に接続する全てのパソコンでこの設定を行う必要があります。設定方法はOSによって異なります。お使いのOSに該当するページをお読みください。

■パソコンのネットワーク設定を行う

○ Windows® XPの場合⇒30ページ

○ Windows® 2000の場合⇒32ページ

○ Windows® Me/98SE/98の場合⇒34ページ

○ MacOS® Xの場合⇒37ページ

○ MacOS® 9.X/8.Xの場合⇒38ページ

■本製品とパソコンの接続を確認する

○ Windows® XPの場合⇒39ページ

○ Windows® 2000の場合⇒41ページ

○ Windows® Me/98SE/98の場合⇒42ページ

○ MacOS® Xの場合⇒44ページ

○ MacOS® 9.x/8.xの場合⇒45ページ

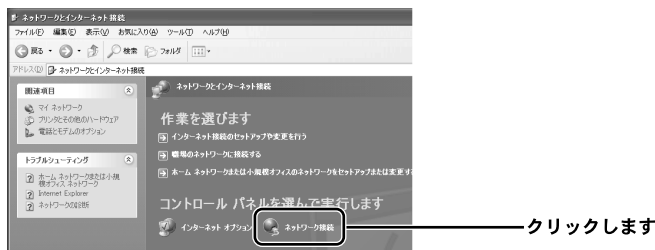
1 パソコンのネットワーク接続を行う

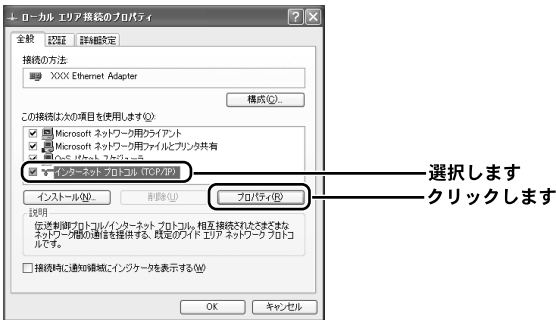
■Windows® XPの場合

注意

- *この作業を行うには「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。*
- *以下の操作手順および表示画面はWindows® XPの初期状態の場合です。Windows® XPの設定によっては異なる場合があります。*

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

2. ［ネットワークとインターネット接続］の画面が表示されます。
［ネットワーク接続］をクリックします。

3. ［ネットワーク接続］の画面が表示されます。
［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

4. ［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面が表示されます。
［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

5. ［インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ］の画面が表示されます。
［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバのアドレスを自動的に取得する］にチェックします。［OK］ボタンをクリックします。

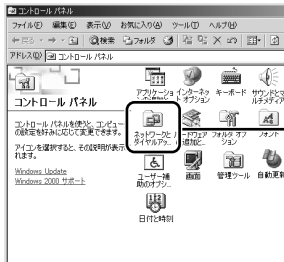
6. ［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面に戻ります。
［OK］ボタンをクリックします。

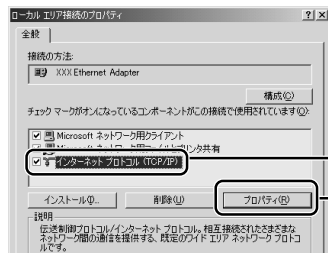
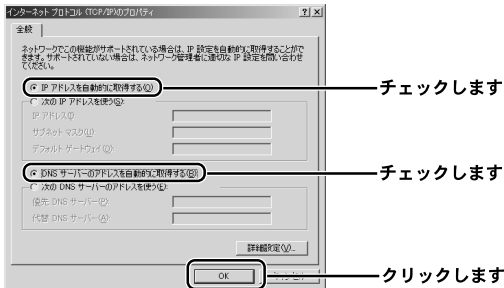
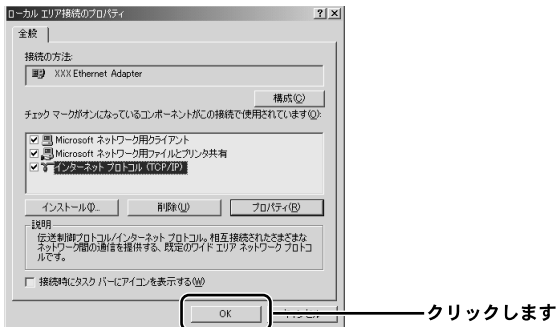
■Windows® 2000の場合

注意

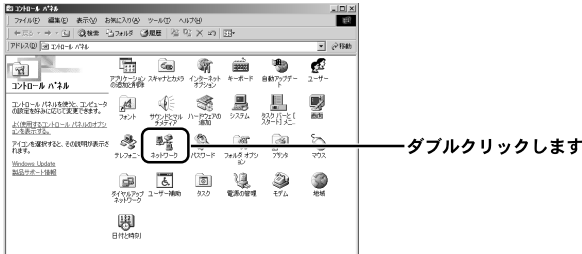
この作業を行うには［Administrator］または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2. ［コントロールパネル］の画面が表示されます。
［ネットワークとダイアルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークとダイヤルアップ接続］の画面が表示されます。
［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

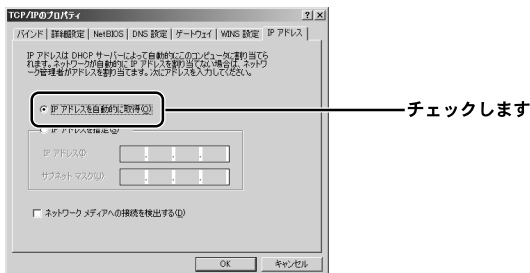
4. ［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面が表示されます。
［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

5. ［インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ］の画面が表示されます。
［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバのアドレスを自動的に取得する］にチェックします。［OK］ボタンをクリックします。

6. ［ローカルエリア接続のプロパティ］の画面に戻ります。
［OK］ボタンをクリックします。

■Windows® Me/98SE/98の場合

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2. ［コントロールパネル］の画面が表示されます。
［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

※Windows® Meで［ネットワーク］アイコンが表示されない場合は、コントロールパネル左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックしてください。

3. ［ネットワーク］の画面が表示されます。
［現在のネットワークコンポーネント］欄から［TCP/IP －>お使いのLANカード（またはLANボード）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

3
パソコンの設定

4. ［TCP/IPのプロパティ］の画面が表示されます。
［IPアドレス］タブをクリックし、［IPアドレスを自動的に取得］をチェックします。

5. ［ゲートウェイ］タブをクリックし、［インストールされているゲートウェイ］欄に何も設定されてないのを確認します。

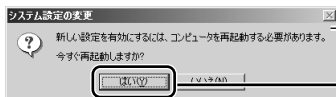
注意

IPアドレスが表示されてる場合は、表示されてる数字を選択し、右の［削除］ボタンをクリックします。

6. ［DNS設定］タブをクリックし、［DNSを使わない］をチェックします。
［OK］ボタンをクリックします。

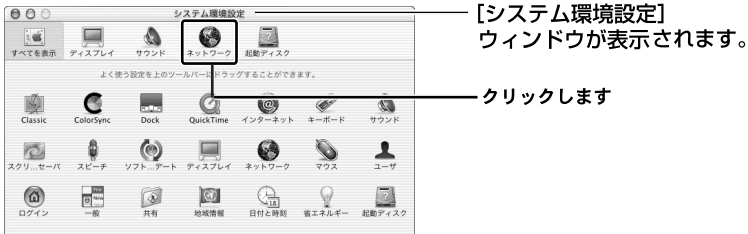
3 パソコンの設定

7. [ネットワーク] の画面に戻ります。
[OK] ボタンをクリックします。

8. 再起動を要求するメッセージが表示されましたら、[はい] ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

■Mac® OS Xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

2. ［システム環境設定］の画面が表示されます。
［ネットワーク］アイコンをクリックします。

※ここに［ネットワーク］アイコンが表示されない場合は、［すべてを表示］アイコンをクリックします。

3. ［ネットワーク］の画面が表示されます。
［設定］欄から［（内蔵）Ethernet］を選択します。

4. ［TCP/IP］タブをクリックし、［設定］欄から［DHCPサーバを参照］を選択します。
［保存］ボタンをクリックします。

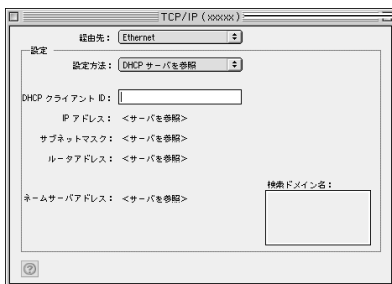
※［DHCPサーバを参照］が表示されていないときは、［PPPoE］タブをクリックし、「PPPoEを使って接続する」をオフにします。

3
パソコンの設定

■Mac® OS9.x/8.xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択します。

2. ［TCP/IP］の画面が表示されます。
［経由先］欄から［Ethernet］を選択し、［設定方法］欄から［DHCPサーバを参照］を選択します。

［TCP/IP］ウィンドウが表示されます。

3. クローズボックスをクリックし、画面を閉じます。
確認ウィンドウが表示されたら、［保存］ボタンをクリックします。

2 本製品とパソコンとの接続を確認する

ここでは、パソコンに正しいIPアドレスが割り当てられてるか確認します。

注意

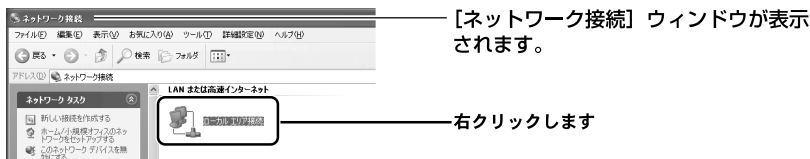
●本製品のDHCPサーバ機能は、初期状態で有効に設定されているため、パソコンにIPアドレスが自動的に割り当てられます。

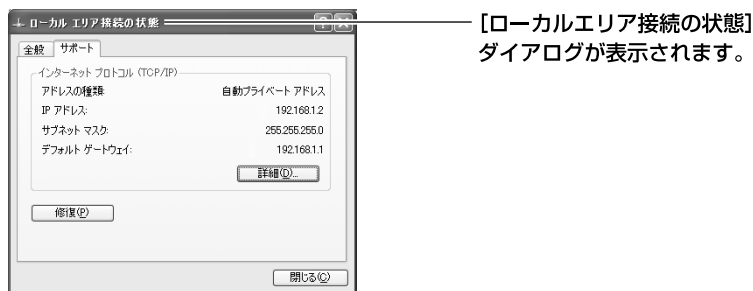
●本製品のLAN側IPアドレスは、初期状態では「192.168.1.1」に設定されています。

■Windows® XPの場合

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をダブルクリックします。

2. ［ネットワークとインターネット接続］の画面が表示されます。
［ネットワーク接続］をクリックします。

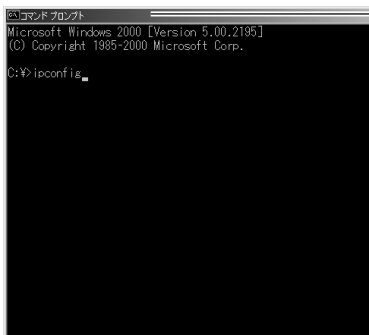
3.［ネットワーク接続］の画面が表示されます。
［ローカルエリア接続］を右クリックし、［状態］をクリックします。

4.［ローカルエリア接続の状態］の画面が表示されます。
［サポート］タブをクリックし、［IPアドレス］欄を確認します。
IPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）

 注意

別のIPアドレスが表示された場合は、［修復］ボタンをクリックしてください。

5.［閉じる］ボタンをクリックします。

■Windows® 2000の場合

1. ［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。

2. ［コマンドプロンプト］の画面が表示されます。
［C:¥>］に続けて、［ipconfig］と入力しキーボードの［Enter］キーを押します。

［コマンドプロンプト］の画面が表示されます。

3. 画面に［Ethernet　adapterローカル　エリア接続：］の情報が表示されます。
［IP Address］の項目でIPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）

同じ画面に、［Ethernet　adapter ローカル　エリア接続：］の情報が表示されます。

注意

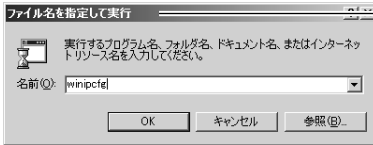
別のIPアドレスが表示された場合は、［C:¥>］に続けて［ipconfig/renew］と入力し、［Enter］キーを押します。

4. コマンドプロンプトの画面を閉じます。

3 パソコンの設定

■Windows® Me/98SE/98の場合

1. ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

2. ［ファイル名を指定して実行］の画面が表示されます。
［名前］欄に［winipcfg］と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

［ファイル名を指定して実行］ウィンドウが表示されます。

3. ［IP設定］の画面が表示されます。
［アダプタ情報］欄からお使いのLANカード/ボードを選択します。

［IP 設定］ウィンドウが表示されます。

4. IPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）

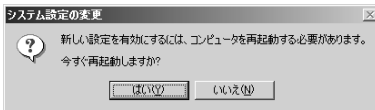
※別のIPアドレスが表示された場合は、［解放］ボタンをクリックし、［書き換え］ボタンをクリックしてください。

注意

別のIPアドレスが表示された場合は、［解放］ボタンをクリックし、［書き換え］ボタンをクリックします。

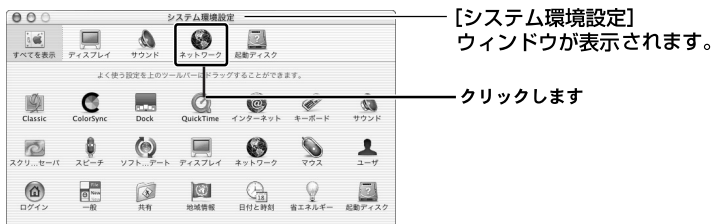
5. ［Ok］ボタンをクリックします。

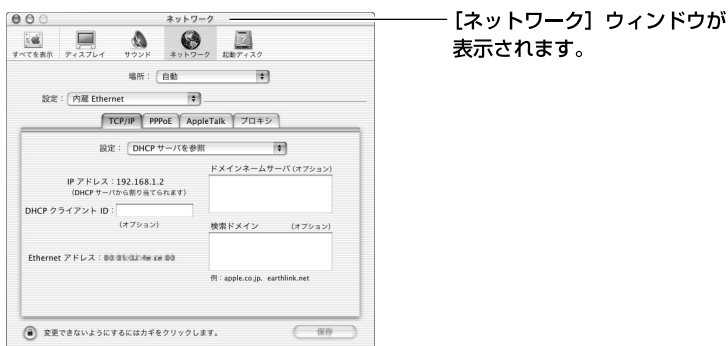
6. 再起動を要求するメッセージが表示された場合は、［はい］ボタンをクリックし再起動します。

3 パソコンの設定

■Mac® OS Xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

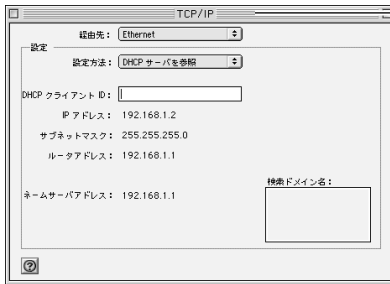
2. ［システム環境設定］画面が表示されます。
［ネットワーク］アイコンをクリックします。

※ここに［ネットワーク］アイコンが表示されない場合は、［すべてを表示］アイコンをクリックします。

3. ［ネットワーク］画面が表示されます。
［設定］欄から［（内蔵）Ethernet］を選択します。［TCP/IP］タブをクリックし、［IPアドレス］欄に表示されてるIPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）

※別のIPアドレスが表示された場合は、お使いのパソコンを再起動してください。
正しいIPアドレスが自動取得されます。

■Mac® OS 9.x/8.xの場合

※表示される画面はMac® OSのバージョンによって異なります。

1. アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択します。

2. ［TCP/IP］の画面が表示されます。
［経由先］欄から［Ethernet］を選択し、［IPアドレス］欄に表示されてるIPアドレスが「192.168.1.x」になってることを確認します。（xは1以外の任意の数字です）

［TCP/IP］ウィンドウが表示されます。

※別のIPアドレスが表示された場合は、お使いのパソコンを再起動してください。
正しいIPアドレスが自動取得されます。

インターネットへの接続

本製品の設定は、WEBブラウザから「設定ページ」を開いて行います。

初めてインターネットに接続するときは、設定ページの「簡単設定ウィザード」を使用します。

1 インターネット接続方法の確認

■簡単設定ウィザードを使う前にご確認ください

●"フレッツ・ADSL"または"Bフレッツ"による接続では、どちらの場合もPPPoEプロトコルを使います。そのため、簡単設定ウィザードでの操作方法は同じです。
設定を開始する前に、以下の項目をチェックしてください。

●プロバイダから通知された情報はお手元にありますか？
設定には、プロバイダから通知される以下の情報が必要です。
・接続ユーザ名
・接続パスワード
・DNSサーバのIPアドレス（プロバイダから通知された場合のみ）
・IPアドレス（固定IPアドレスの場合のみ）
・サブネットマスク（固定IPアドレスの場合のみ）
・デフォルトゲートウェイのIPアドレス（固定IPアドレスの場合のみ）

※プロバイダによって、上記の呼び方が異なる場合があります。
（例）接続ユーザ名　→ユーザID、アカウント、ユーザ名
ご不明な場合はプロバイダにお問い合わせください

●フレッツ接続ツールを起動していませんか？
設定を行うパソコンで「フレッツ接続ツール」が起動していないことを確認してください起動しているときは、終了してください。

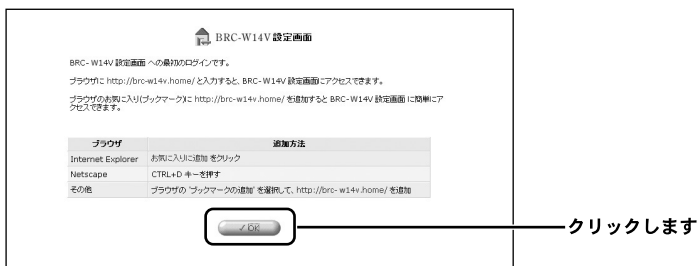
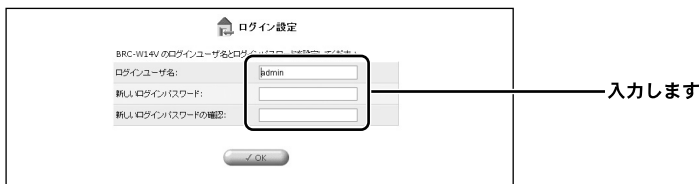
●本製品は"フレッツ・ADSL"または"Bフレッツ"以外のDHCPを利用した接続にも対応しています。

●固定IPアドレスで接続する場合は、以下の情報が必要です。
- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイのIPアドレス
- DNSサーバのIPアドレス

■設定ページを開く

ここでは、本製品の設定ページを開くための方法について説明します。
※画面はBRC-W14Vのものを使用しています。

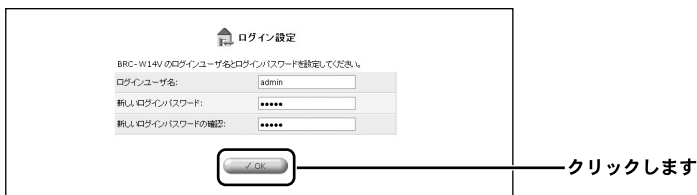
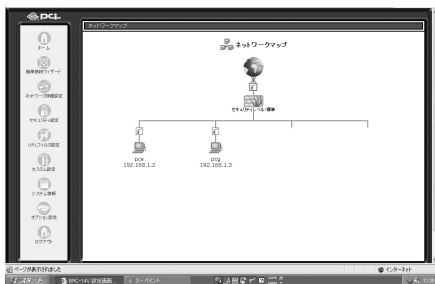
1. 本製品につないだパソコンでWEBブラウザを起動し、アドレスを入力する欄に「http://192.168.1.1/」または「http://brcw108g.home/」と入力します。

2. 本製品の最初にログオンするための画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。

3. ［ログイン設定］画面が表示されます。
設定ページにログインするための、ログインユーザ名とログインパスワードを入力してください。

※2回目以降は［ログイン］画面が表示されます。

[ログインユーザ名]
任意のログイン名を入力します。半角英数字を使用し、１～64文字の範囲で入力してください。

[新しいログインパスワード]
任意のパスワードを入力します。半角英数字を使用し、１～64文字の範囲で入力してください。入力したパスワードは「＊」または「●」で表示されます。

[新しいログインパスワードの確認」
確認のため再度パスワードを入力してください。

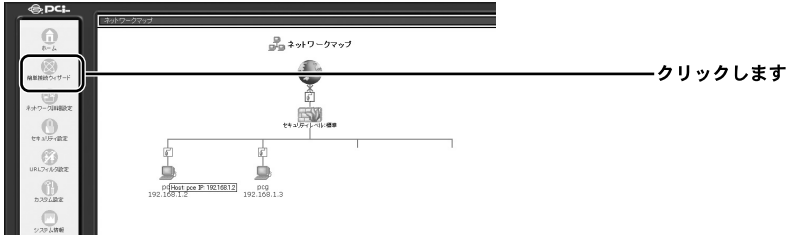
4.［ＯＫ］ボタンをクリックします。

5. 本製品の設定画面が表示されます。

■簡単設定ウィザードで設定する

ここでは、簡単設定ウィザードを使用して［PPPoE接続］または［PPPoE以外の接続］でインターネットに接続する方法について説明します。
本製品の簡単設定ウィザードを使用して以下の設定が可能です。
お使いの接続方法をご確認のうえ、該当するページをご参照ください。

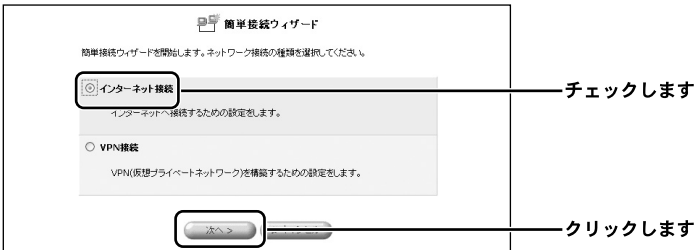
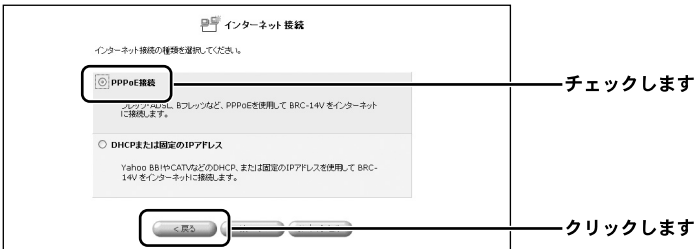
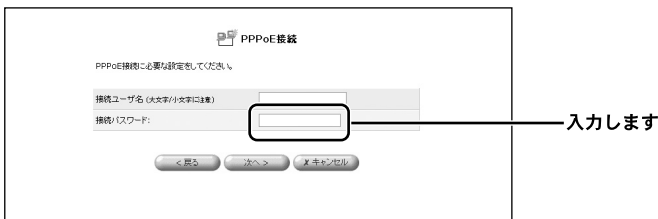
●PPPoE接続で設定する場合
●PPPoE接続でIPアドレスを固定で設定する場合
●PPPoE以外の自動取得で設定する場合
●PPPoE以外でIPアドレスを固定で設定する場合

2 PPPoE接続で設定する場合

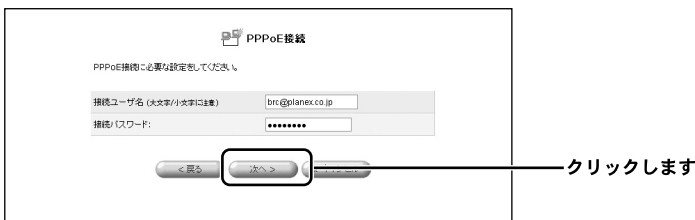
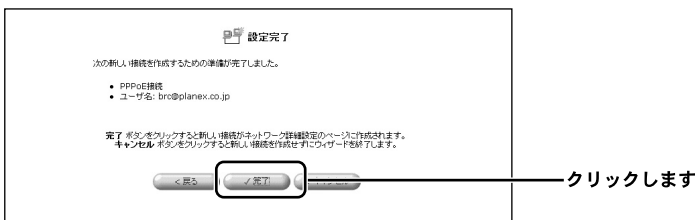
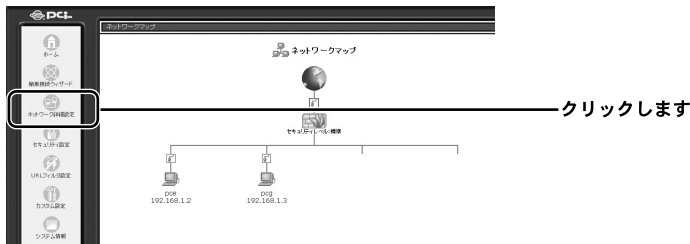
ここでは、PPPoE接続で設定する場合の方法について説明します。
事前にプロバイダから通知された情報をご用意ください。

1. サイドバーから［簡単設定ウィザード］アイコンをクリックします。

2. ［簡単設定ウィザード］の画面が表示されます。
［インターネット接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。

3. ［インターネット接続］の画面が表示されます。
［PPPoE接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。

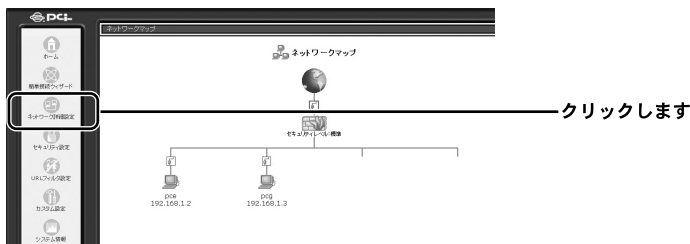
4
インターネットへの接続

4. ［PPPoE接続］の画面が表示されます。
プロバイダから通知された情報をもとに、［接続ユーザ名］と［接続パスワード］を入力します。

［接続ユーザ名］
プロバイダから指定された接続ユーザ名を、半角英数字で入力します。
「brc@planex.co.jp」のように、すべて入力してください。

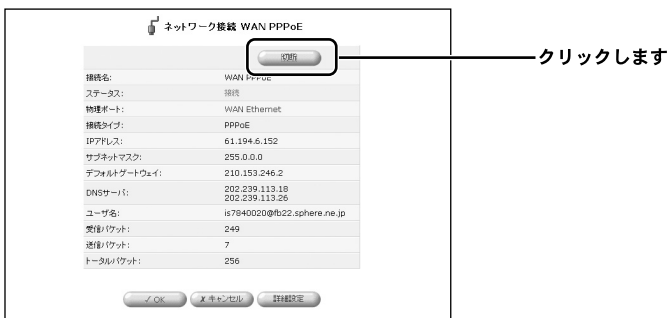
［接続パスワード］
プロバイダから指定された接続パスワードを、半角英数字で入力します。大文字、小文字を正しく入力してください。入力された接続パスワードは「＊」または「●」で表示されます。

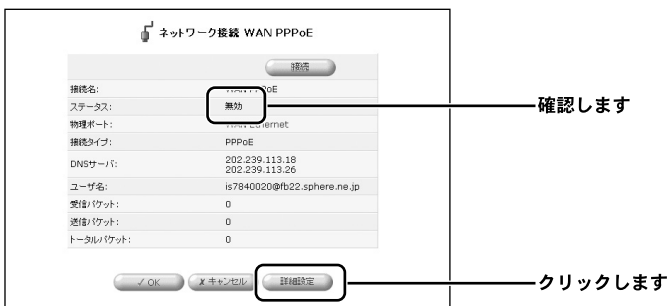
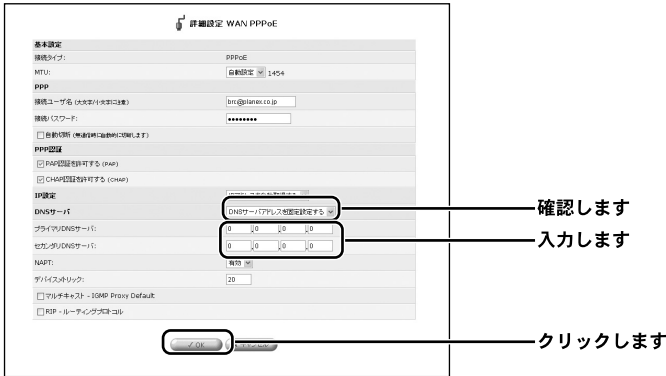
5. ［次へ］ボタンをクリックします。

6. ［設定完了］の画面が表示されます。
設定内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

7.［ネットワークマップ］の画面が表示されます。
PPPoEによる接続の設定が作成されたことを確認します。サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

8.［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄に［WAN PPPoE］接続が表示されてるのを確認します。

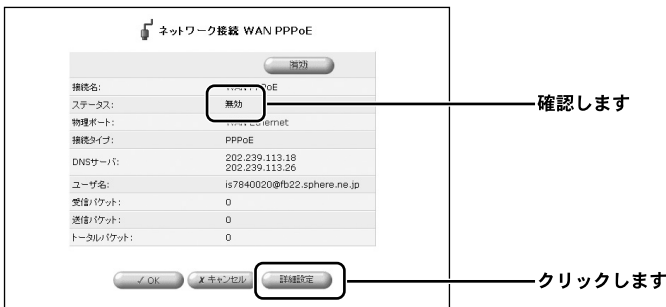
9. プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されてる場合は、DNSサーバの設定を行う必要があります。

※プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、次の操作（①～⑨）は不要です。

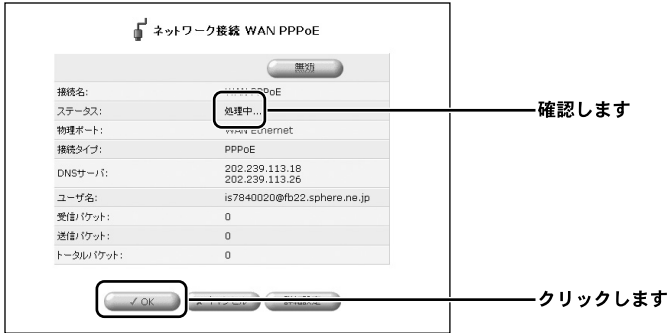
①サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

② ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［WAN PPPoE］の修正ボタンをクリックします。

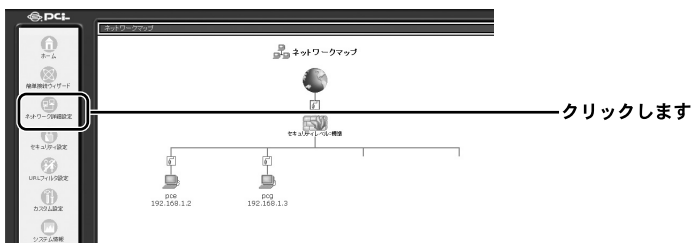
③ ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［切断］ボタンをクリックし、インターネットへの接続を切断します。

④ インターネットの接続を切断する確認の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。

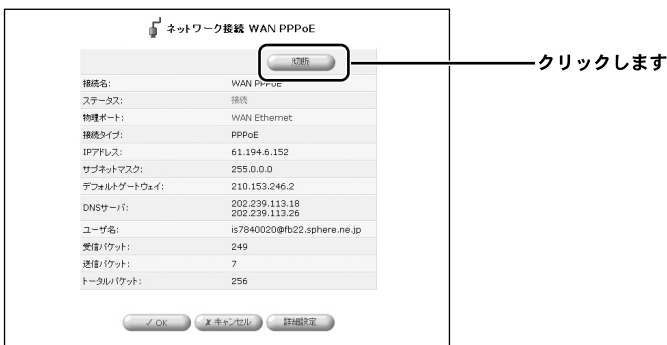
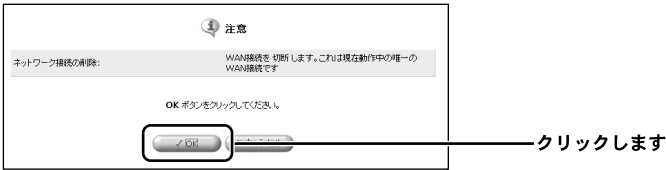
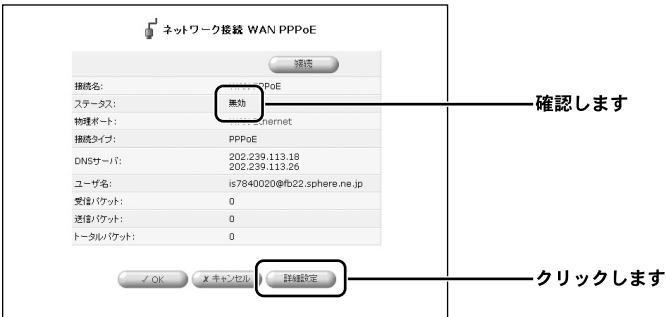
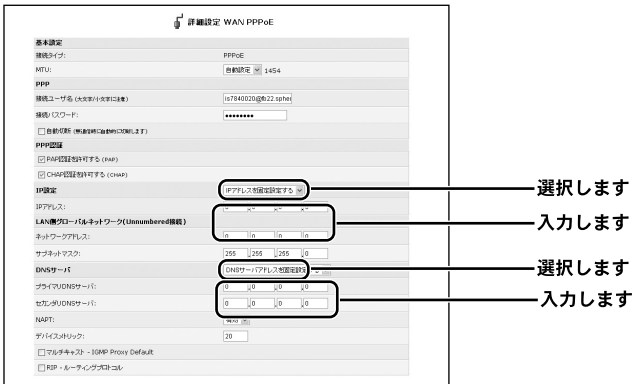
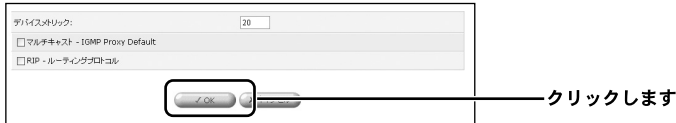
⑤ ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［ステータス］欄が［無効］に切り替わったことを確認し、［詳細設定］ボタンをクリックします。

⑥［詳細設定 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［DNSサーバ］欄から［DNSサーバアドレスを固定設定する］を選択し、［プライマリDNSサーバ］と［セカンダリDNSサーバ］にプロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。［OK］ボタンをクリックします。

※プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスが1つの場合は、［プライマリDNSサーバ］にのみ入力してください。

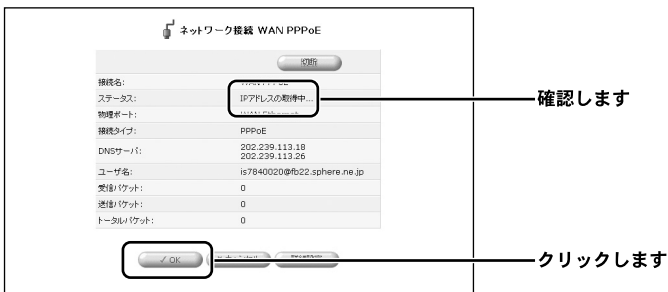
⑦［ネットワーク接続　WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［有効］ボタンをクリックします。

⑧［ステータス］欄が［処理中］に切り替わったことを確認してください。
［OK］ボタンをクリックします。

⑨ 以上で設定は終了です。

4
インターネットへの接続

3 PPPoE接続でIPアドレスを固定で設定する場合

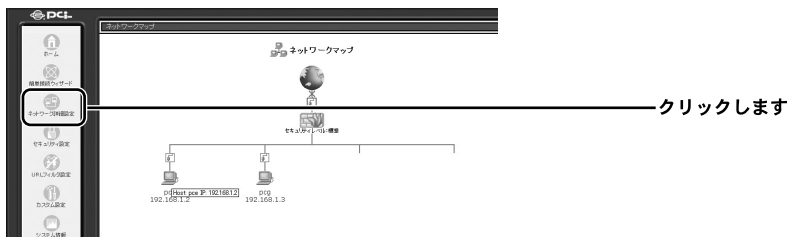
1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄から［WAN PPPoE］の［修正］ボタンをクリックします。

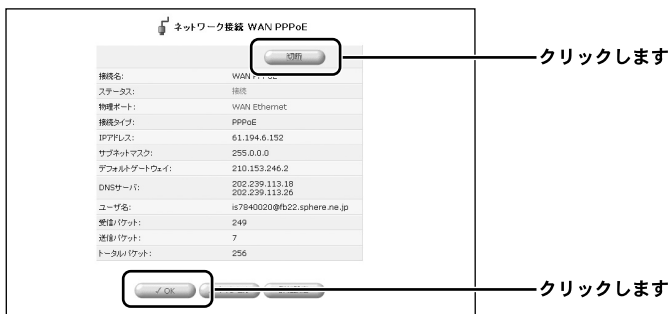
3. ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［切断］ボタンをクリックし、インターネットへの接続を切断します。

4. インターネットの接続を切断する確認の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。

5. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［ステータス］欄が［無効］に切り替わったことを確認し、［詳細設定］ボタンをクリックします。

6. ［詳細設定　WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［IP設定］欄から［IPアドレスを固定設定する］を選択し、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。次に［DNSサーバ］欄から［DNSサーバを固定設定する］を選択し、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。

7. ［OK］ボタンをクリックします。

8. ［ネットワーク接続　WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［接続］ボタンをクリックします。

9. ［ステータス］欄が［IPアドレスの取得中］に切り替わったことを確認してください。
［OK］ボタンをクリックします。

10. 以上で設定は終了です。

4 PPPoE接続の削除

ここでは、作成したPPPoE接続を削除する方法について説明します。

1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

2.［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄から削除するPPPoE接続の修正ボタンをクリックします。

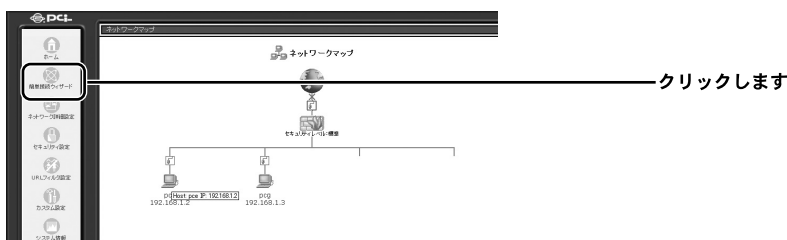
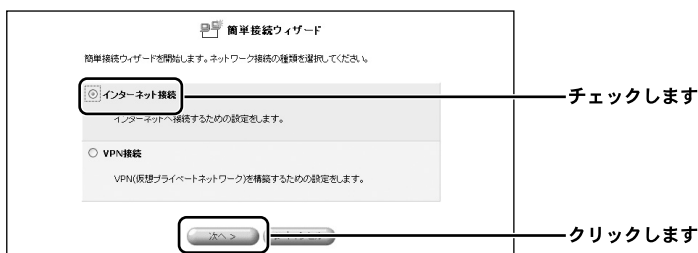
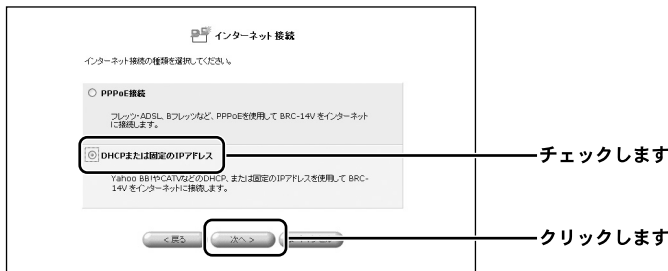
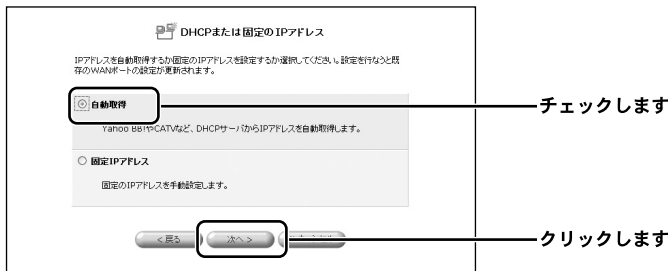
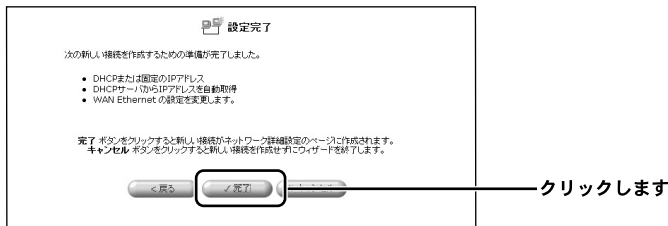
3.［ネットワーク接続　WAN PPPoE］の画面が表示されます。
回線が接続されてる場合は、［切断］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。
［OK］ボタンをクリックします。

4. ［ネットワーク詳細設定］の画面に戻ります。
［接続名］欄から削除するPPPoE接続の削除ボタンをクリックします。

5. 以上でPPPoE接続の削除は終了です。

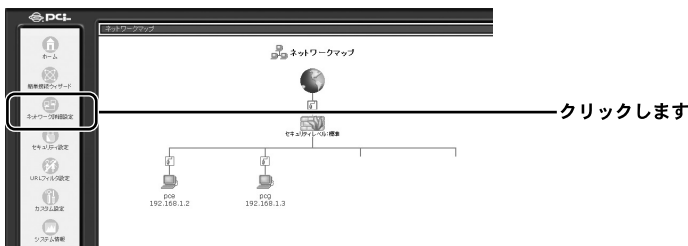
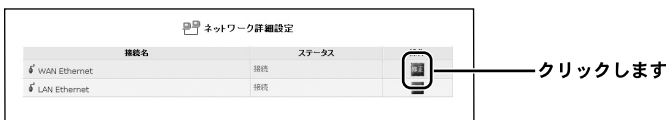
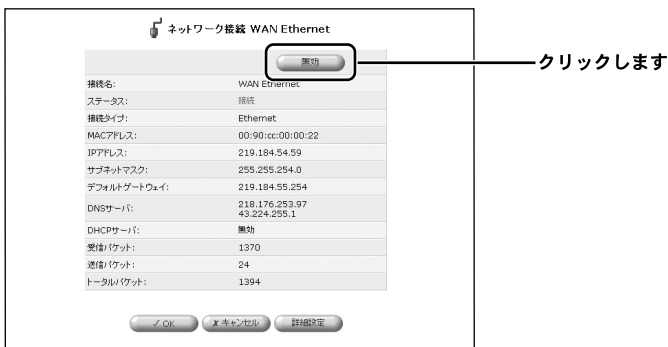
5 PPPoE以外の自動取得で設定する場合

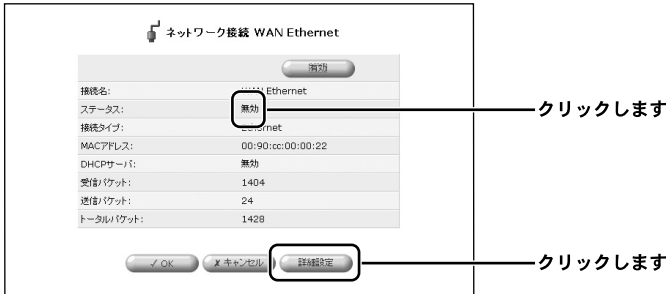
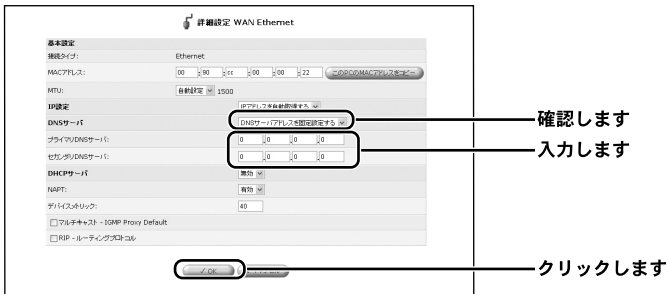
ここでは、PPPoE接続を使用しないで、IPアドレスを自動取得する場合の方法について説明します。

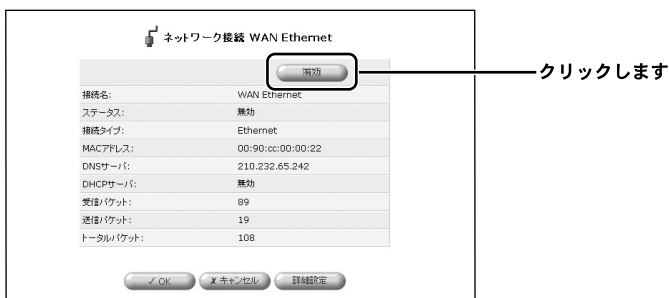
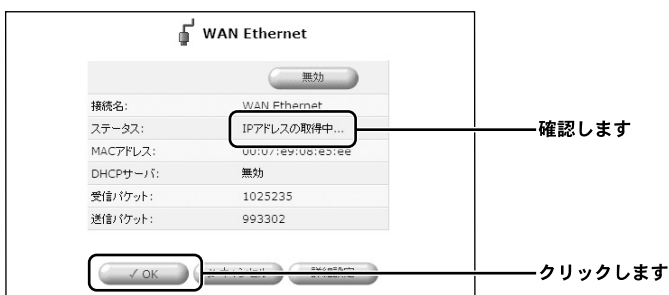
※PPPoE以外の接続サービスには、通常接続やDHCPによるIPアドレス自動取得、固定IPアドレスの設定などがあります。

1. サイドバーから［簡単設定ウィザード］アイコンをクリックします。

2. ［簡単設定ウィザード］の画面が表示されます。
［インターネット接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。

3. ［インターネット接続］の画面が表示されます。
［DHCPまたは固定のIPアドレス］にチェックをつけ、［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［DHCPまたは固定のIPアドレス］の画面が表示されます。
［自動取得］にチェックをつけ、［次へ］ボタンをクリックします。

5. ［設定完了］の画面が表示されます。
設定内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。
これで、プロバイダからIPアドレスを自動的に取得することができます。

6. プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されてる場合は、DNSサーバの設定を行う必要があります。

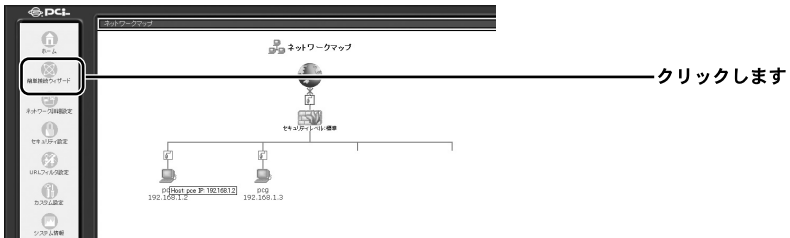
※プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、次の操作（①〜⑨）は不要です。

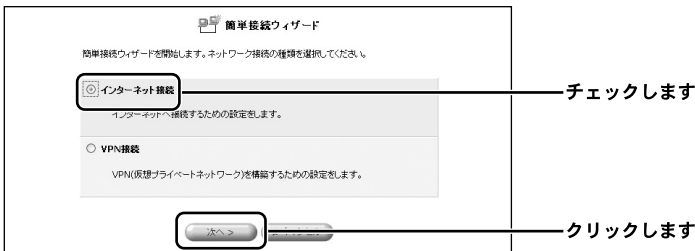
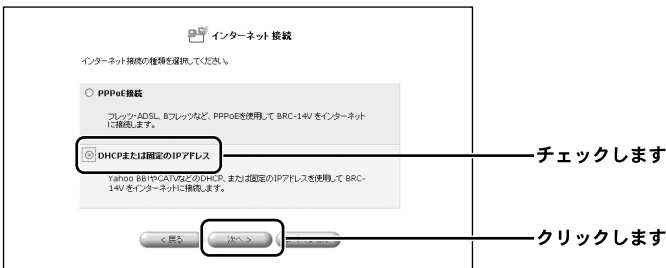
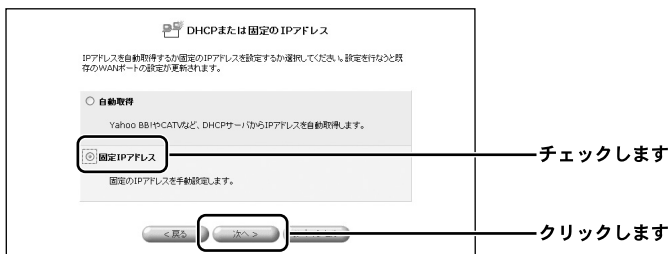
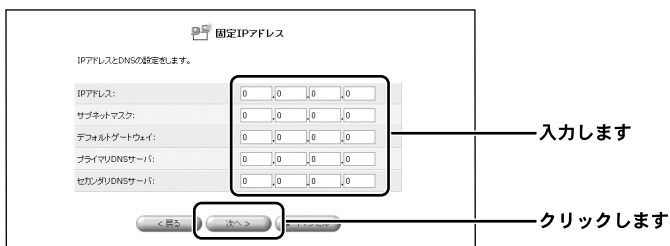
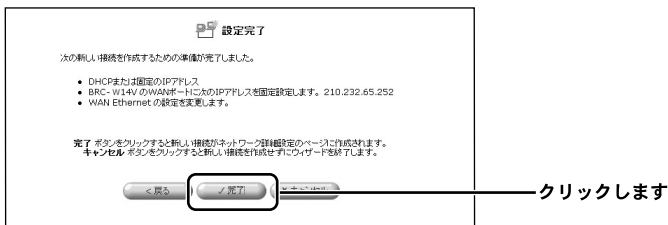
①サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

②［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［WAN Ethernet］の［修正］ボタンをクリックします。

③［ネットワーク接続 WAN Ethernet］の画面が表示されます。
［無効］ボタンをクリックし、インターネットへの接続を切断します。

④インターネットの接続を切断する確認の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。

⑤［ネットワーク接続 WAN Ethernet］の画面に戻ります。
［ステータス］欄が［無効］に切り替わったことを確認し、［詳細設定］ボタンをクリックします。

⑥［詳細設定 WAN Ethernet］の画面が表示されます。
［DNSサーバ］欄から［DNSサーバアドレスを固定設定する］を選択し、［プライマリDNSサーバ］と［セカンダリDNSサーバ］にプロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。［OK］ボタンをクリックします。

※プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスが1つの場合は、［プライマリDNSサーバ］にのみ入力してください。

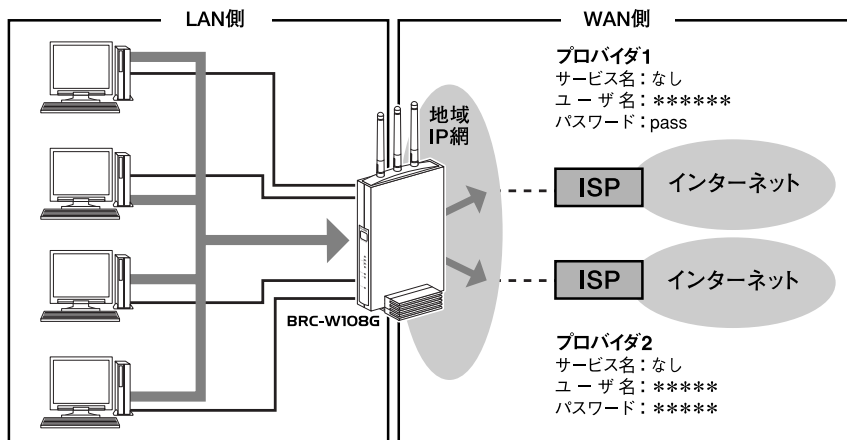
⑦［ネットワーク接続　WAN Ethernet］の画面に戻ります。
［有効］ボタンをクリックします。

⑧［ステータス］欄が［IPアドレスの取得中］に切り替わったことを確認してください。
［OK］ボタンをクリックします。

⑨ 以上で設定は終了です。

6 PPPoE以外でIPアドレスを固定で設定する場合

ここでは、PPPoE接続を使用しないで、IPアドレスを固定で設定する場合の方法について説明します。

1. サイドバーから［簡単設定ウィザード］アイコンをクリックします。

2. ［簡単設定ウィザード］の画面が表示されます。
［インターネット接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。

3. ［インターネット接続］の画面が表示されます。
［DHCPまたは固定のIPアドレス］にチェックをつけ、［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［DHCPまたは固定のIPアドレス］の画面が表示されます。
［固定IPアドレス］にチェックをつけ、［次へ］ボタンをクリックします。

5. ［固定IPアドレス］の画面が表示されます。
プロバイダからの情報をもとにIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバのアドレスを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

6. ［設定完了］の画面が表示されます。
設定内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

7. 以上で設定は完了です。

7 PPPoE接続でマルチセッション接続を設定する場合

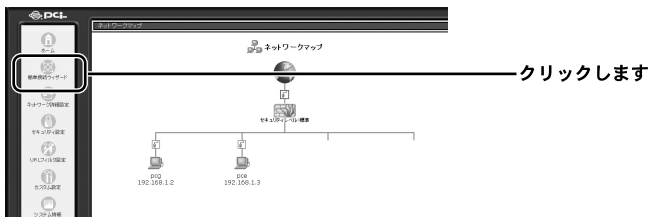
本製品はPPPoEマルチセッションに対応しています。マルチセッション利用時は複数のプロバイダを登録し同時に接続することができ、最大４セッションの接続を同時に行うことができます。

また、複数の接続先を登録した場合は、デフォルトゲートウェイの変更や接続先の優先順位の変更を自由に行うことができます。
通常はPPPoE接続を作成した順に登録され優先順位が決まります。

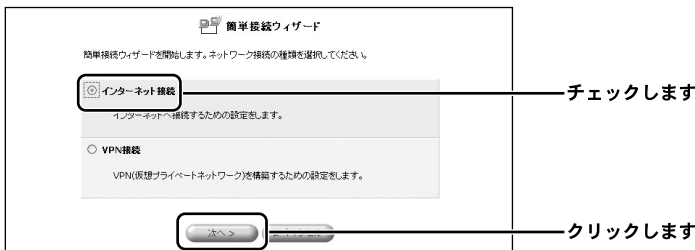
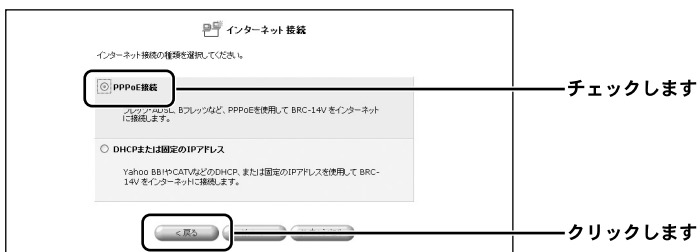
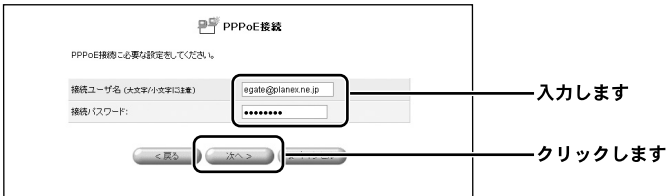
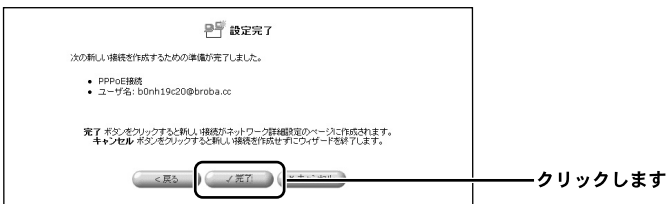
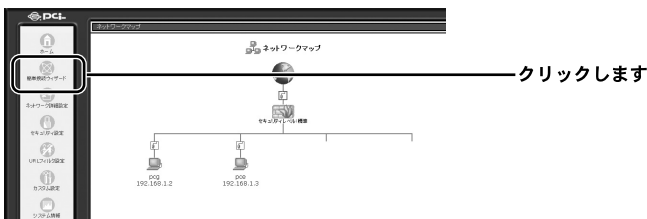
接続名	優先順位	メトリック
WAN PPPoE	1	20
WAN PPPoE2	2	21
WAN PPPoE3	3	22
WAN PPPoE4	4	23

注意

- ***複数セッションへの接続機能は、複数のPPPoEセッションへの接続を同時に行えるサービス（マルチセッション）でのみご利用することができます。***
- ***マルチセッションがサポートされていないサービスの場合は、複数セッションへの同時接続機能はご利用できません。***
- ***Unnumbered接続とは異なります。***
- ***PPPoE接続以外の接続（DHCP接続など）ではこの機能はご利用できません。***

●複数の接続先を登録する場合

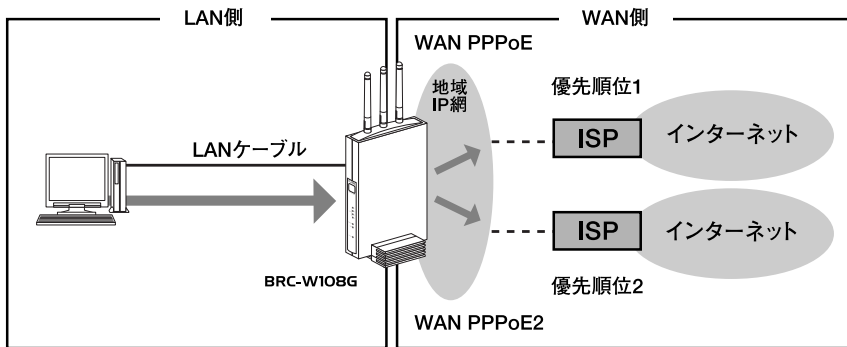
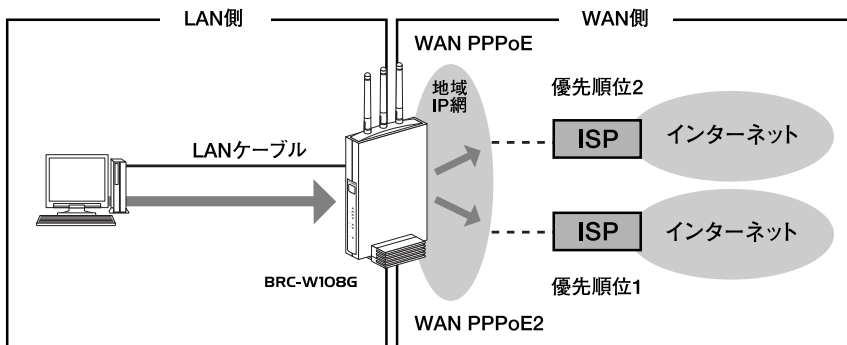
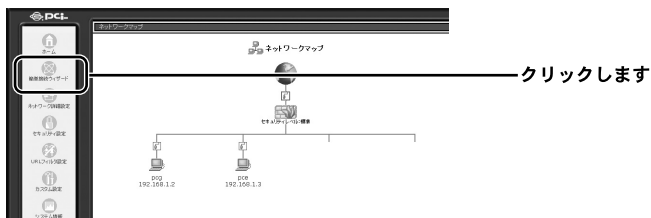
ここでは、1つ目のPPPoE接続が既に登録されていて、2つ目を追加登録する場合の方法について説明します。

1. サイドバーから［簡単設定ウィザード］アイコンをクリックします。

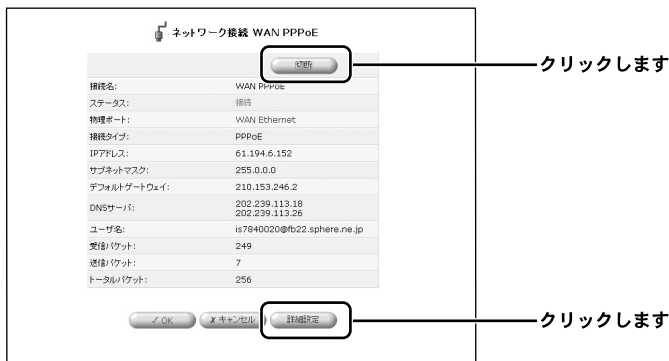
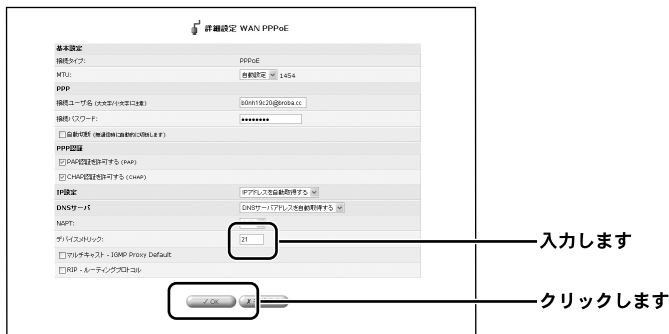
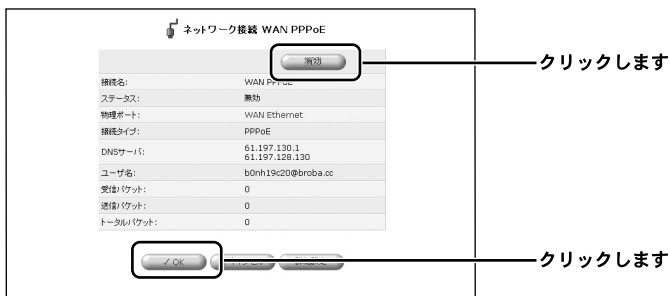
2.［簡単設定ウィザード］の画面が表示されます。
［インターネット接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。

3.［インターネット接続］の画面が表示されます。
［PPPoE接続］にチェックマークを付け、［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［PPPoE接続］の画面が表示されます。
2つ目のプロバイダから指定された接続ユーザ名、接続パスワードを入力します。
［次へ］ボタンをクリックします。

5. ［設定完了］の画面が表示されます。
設定内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

6. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

7. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄に2つ目の［WAN PPPoE2］が表示されてるのを確認します。

8. 以上で設定は終了です。
3つ目、4つ目のPPPoEの接続先を登録する場合は、同様の手順で設定してください。

4
インターネットへの接続

●接続先の優先順位を変更する場合

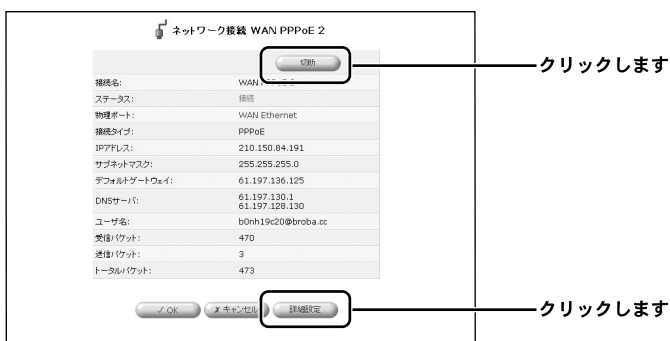
本製品で複数の接続先を登録した場合、登録した順に優先順位が設定されます。本製品はPPPoE接続を設定後、デフォルトゲートウェイの変更や優先順位を変更することができます。

WAN PPPoEを優先順位2、WAN　PPPoE2を優先順位1に変更した場合

1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄から［WAN PPPoE］の［修正］ボタンをクリックします。

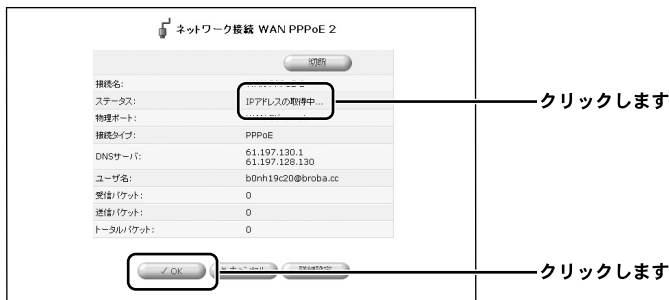
3. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］ の画面が表示されます。
回線が接続されてる場合は、［切断］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。［詳細設定］ボタンをクリックします。

4. ［詳細設定 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［デバイスメトリック］欄に「21］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

5.［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面に戻ります。［有効］ボタンをクリックし、［ステータス］欄が［処理中］に切り替わったことを確認してください。

［OK］ボタンをクリックします。

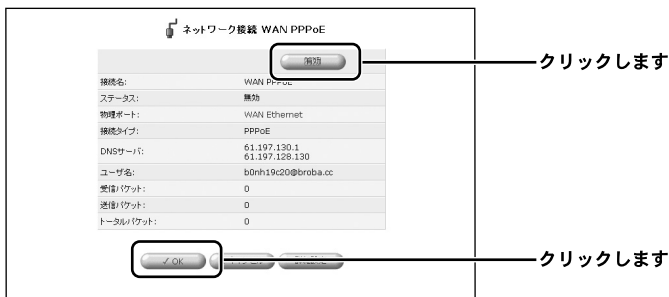
6.［ネットワーク詳細設定］の画面に戻ります。

［接続名］欄から［WAN PPPoE2］の［修正］ボタンをクリックします。

7.［ネットワーク接続 WAN PPPoE2］ の画面が表示されます。

回線が接続されてる場合は、［切断］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。［詳細設定］ボタンをクリックします。

8. ［詳細設定 WAN PPPoE2］の画面が表示されます。
［デバイスメトリック］欄に「20］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

9. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE2］の画面に戻ります。
［有効］ボタンをクリックし、［ステータス］欄が［IPアドレスの取得中］に切り替わったことを確認してください。［OK］ボタンをクリックします。

10. ［接続名］欄から［WAN PPPoE］を選択し、修正ボタンをクリックします。

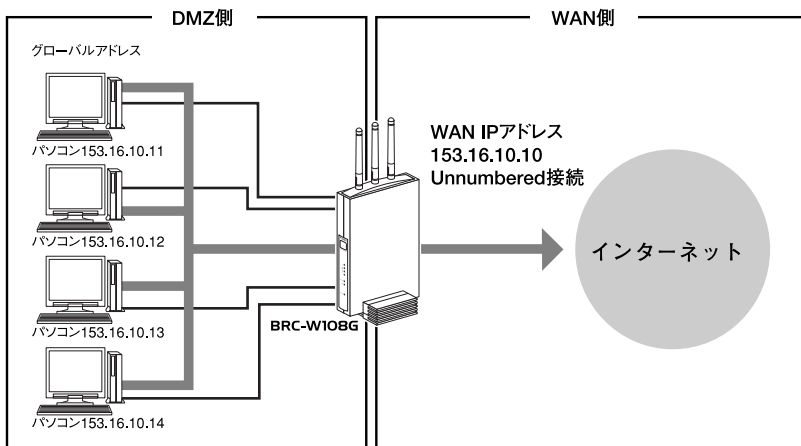
11. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［有効］ボタンをクリックし、［ステータス］欄が［処理中］に切り替わったことを確認してください。［OK］ボタンをクリックします。

12. 本製品に設定されたWAN PPPoE2がデフォルトゲートウェイ、WAN PPPoEが優先順位２に変更され、インターネットに接続されました。

13. 以上で設定は終了です。
3つ目、4つ目のPPPoEの優先順位を変更する場合は、同様の手順で設定してください。

8 Unnumbered接続を設定する場合

本製品は複数の固定IPアドレスを利用するUnnumbered接続に対応しています。Unnumbered接続を利用することで、LAN側に設置したサーバ等をインターネットに公開することができます。また、LAN側にNAPTによるプライベートアドレスのホストとUnnumbered接続を利用したグローバルアドレスのホストを設定し同時に通信を行うこともできます

通常、プロバイダから複数のグローバルIPアドレスが割り当てられた場合、１つのサブネットとして連続したグローバルIPアドレスが割り当てられます。このうち、最初（ネットワークアドレス）と最後（ブロードキャストアドレス）はシステムで予約されており、ホスト（コンピュータやサーバ）には使用できません。

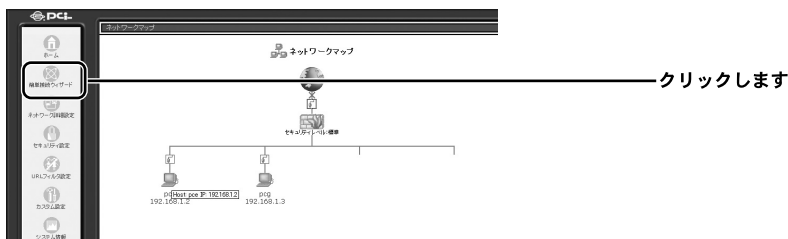
例）プロバイダから153.16.10.8～153.16.10.15の8個のグローバルIPアドレスが割り当てられた場合
153.16.10.8 ネットワークアドレス（使用不可）
153.16.10.9　デフォルトゲートウェイ
153.16.10.10 ルータ用（WANポートまたはWAN PPPoEポート用）
153.16.10.11
～
153.16.10.14 ホスト用
153.16.10.15 ブロードキャストアドレス（使用不可）

本製品でUnnumbred接続を設定する場合は、接続方法により異なります。
お使いの接続方法をご確認のうえ、該当するページをご参照ください。

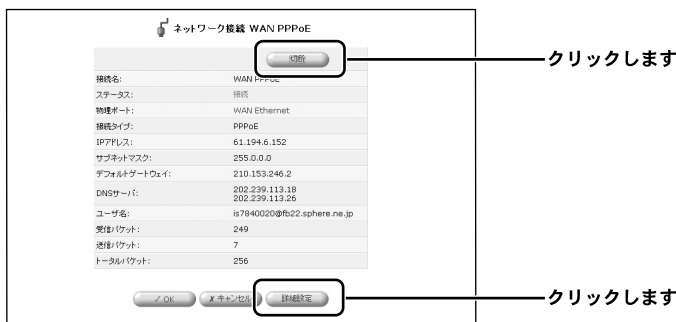
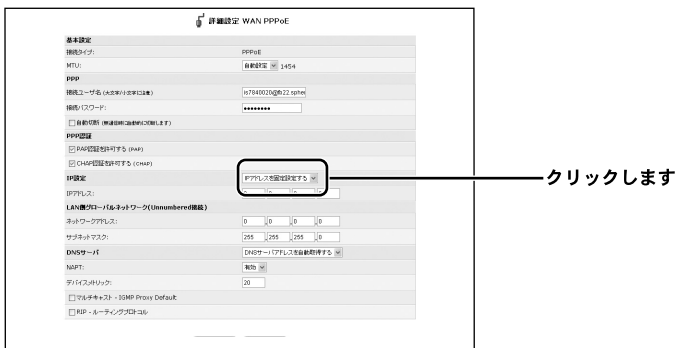
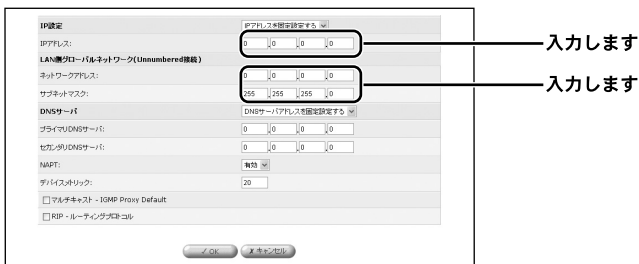
●PPPoE接続でUnnumbered接続を利用する場合
→「PPPoE接続でUnnumbered接続を設定する場合」にお進みください。

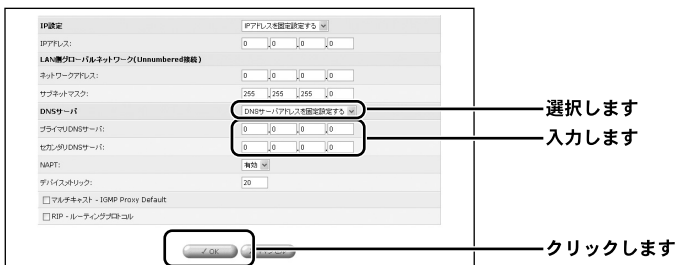
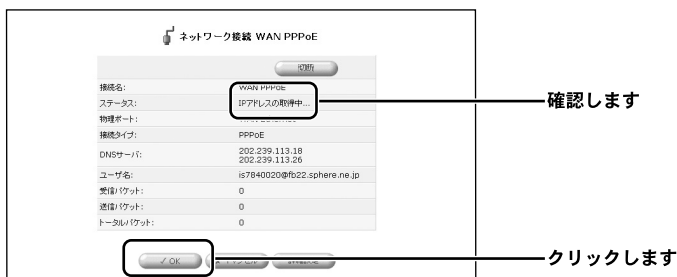
●PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を利用する場合
→「PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を設定する場合」へお進みください。

9 PPPoE接続でUnnumbered接続を設定する場合

ここでは、PPPoE接続でUnnumbered接続を設定する場合の方法について説明します。

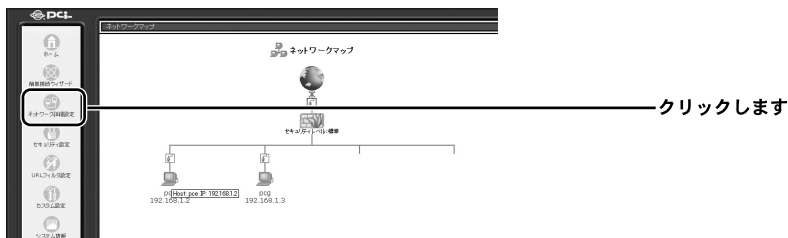
1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
すでに設定してある［WAN PPPoE］接続の修正ボタンをクリックします。

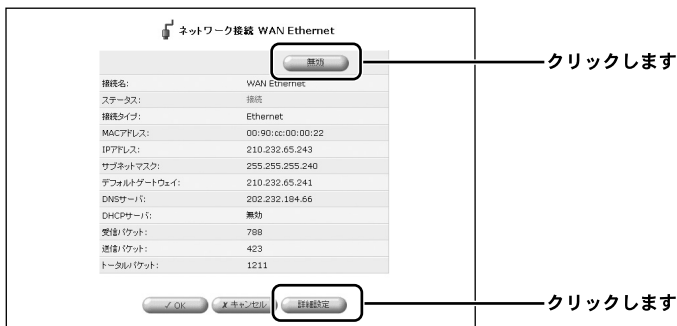
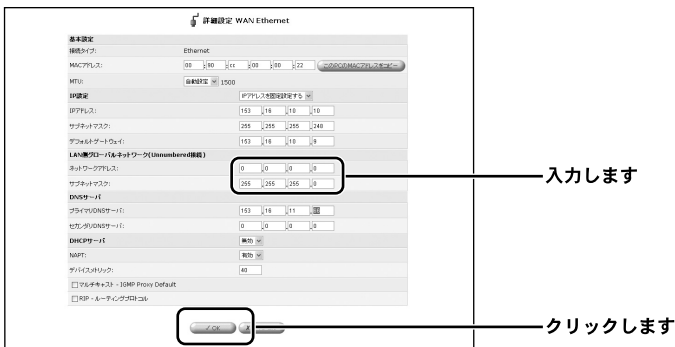
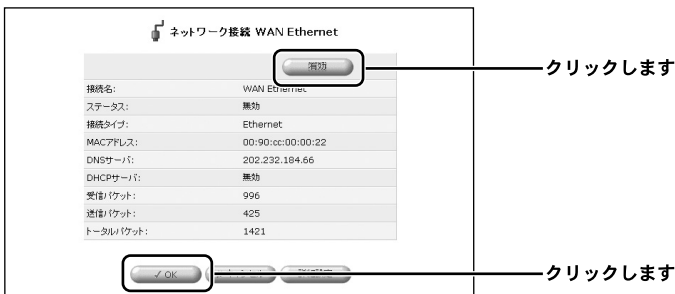
3. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］ の画面が表示されます。
回線が接続されてる場合は、［切断］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。［詳細設定］ボタンをクリックします。

4. ［詳細設定　WAN PPPoE］の画面が表示されます。
［IP設定］欄から［IPアドレスを固定設定する］を選択します。

5. ［IPアドレス］欄にプロバイダからの情報をもとにIPアドレスを入力します。
［LAN側グローバルネットワーク（Unnumbered接続）］欄にプロバイダから割り当てられたネットワークアドレスとサブネットマスクを入力します。

6. ［DNSサーバ］欄から［DNSサーバを固定設定する］を選択し、プロバイダからの情報をもとにDNSサーバアドレスを入力します。［OK］ボタンをクリックします。

4
インターネットへの接続

7. ［ネットワーク接続 WAN PPPoE］の画面に戻ります。
［有効］ボタンをクリックし、［ステータス］欄が［IPアドレスの取得］に切り替わったことを確認してください。［OK］ボタンをクリックします。

8. 以上でUnnumbered接続のWAN側の設定は終了です。
次にお使いのパソコンにグローバルIPアドレスを設定します。
「11 パソコンのIPアドレス設定］へお進みください。

10 PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を設定する場合

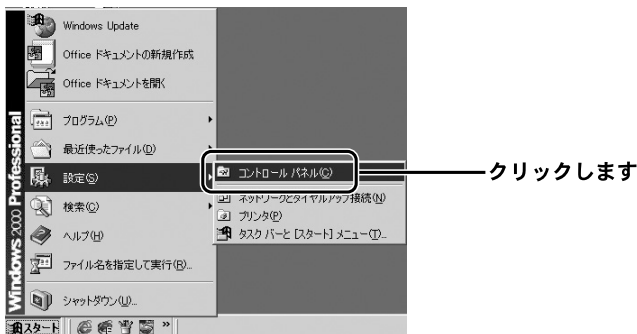
ここでは、PPPoE以外の接続でUnnumbered接続を設定する場合の方法について説明します。

1. サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

2. ［ネットワーク詳細設定］の画面が表示されます。
［接続名］欄から［WAN Ethernet］を選択し、修正ボタンをクリックします。

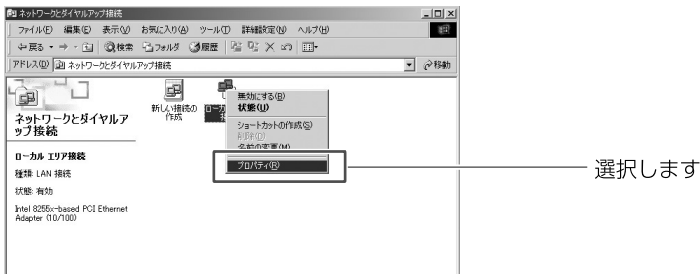
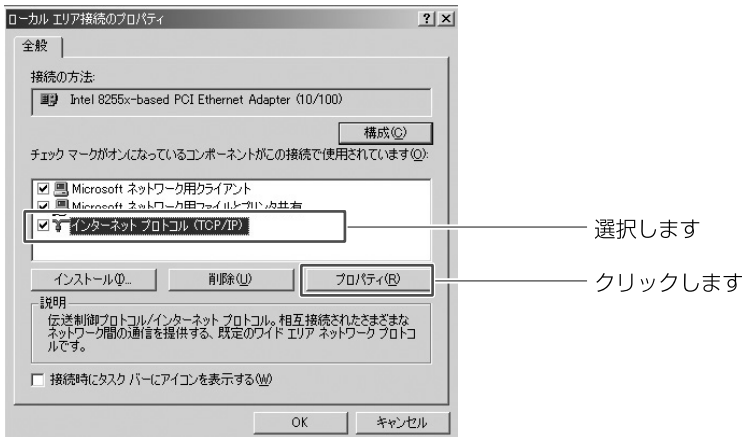
3. ［ネットワーク接続 WAN Ethernet］の画面が表示されます。
回線が接続されてる場合は、［無効］ボタンをクリックし、回線をいったん切断します。［詳細設定］ボタンをクリックします。

4. ［LAN側グローバルネットワーク（Unnumbered接続）］欄にプロバイダから割り当てられたネットワークアドレスとサブネットマスクを入力します。［OK］ボタンをクリックします。

5. ［ネットワーク接続 WAN Ethernet］の画面に戻ります。
［有効］ボタンをクリックし、［ステータス］欄が［処理］に切り替わったことを確認してください。［OK］ボタンをクリックします。

6. 以上でUnnumbered接続のWAN側の設定は終了です。
次にお使いのパソコンにグローバルIPアドレスを設定します。
「11.パソコンのIPアドレス設定］へお進みください。

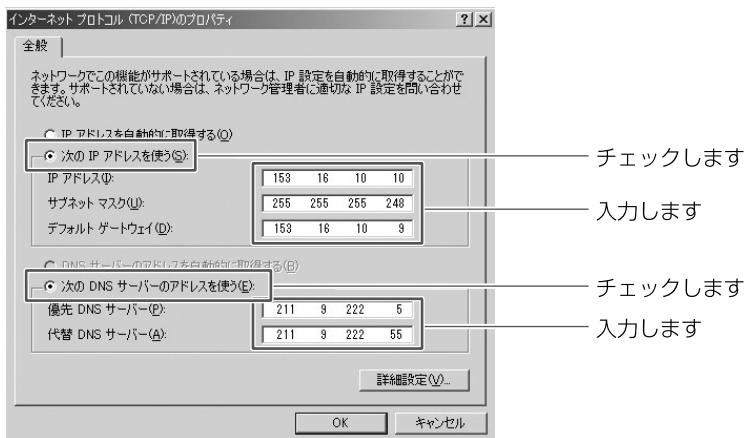
11 パソコンのIPアドレス設定

ここでは、Windows® 2000を例にして、パソコンにグローバルIPアドレスを設定する方法について説明します。

1. [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックします。

2. ネットワークとダイアルアップ接続] をダブルクリックします。

。

3. [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

4. [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

5. [次のIPアドレスを使う] と [次のDNSサーバのアドレスを使う] にチェックを付けます。

プロバイダからの情報をもとに、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバ、代替DNSサーバを入力します。

※プロバイダからの設定資料にそって設定してください。

6. [OK] ボタンをクリックします。

7. 以上で設定は終了です。

付録A

ネットワークQ&A

1 ブロードバンドルータの色々な「?」について

インターネットの急速な普及により、ブロードバンドルータ(以下、ＢＢルータ)を使用する場面が増えてきました。特に多く寄せられる、LAN全般や弊社製品を使用する際にぶつかる疑問点についていくつかまとめてみました。
ネットワークはよく解らない…という方は是非ご一読ください。弊社製品に対する理解を深められることでしょう。

Q BBルータの設定は接続するコンピュータに対して全部で行うのですか?

A いいえ

複数台接続している環境であっても、いずれか1台のコンピュータからBBルータの設定を行うだけで完了します。

補足

設定作業を行った1台でBBルータを介してインターネットにアクセスできるようになっていれば、その時点でBBルータの設定は完了したことになります。他のコンピュータから同じように設定を行う必要はありません。
例えば、2台のコンピュータのうち、1台はインターネットにアクセスできるが、もう1台はアクセスできないという場合は、BBルータではなくコンピュータ側に問題があることが考えられます。

Qインターネットに接続できないのに、どうやって設定画面にアクセスするんですか?

A インターネットへの接続と関係なく、設定画面にアクセスできます。

設定画面はBBルータの中にあります。BBルータの中に設定用のホームページが存在しアクセスすることで、BBルータの設定を行っているのです。
ですから、BBルータがインターネット(モデム)につながっていなくてもコンピュータは設定画面にアクセスすることができるのです。

Q「ブラウザ」ってなんですか？

A インターネット上のホームページ等を見るためのソフトです。

「インターネットエクスプローラ」や「ネットスケープ」等が代表的なソフトになります。

補足

BBルータのマニュアルでは「インターネットエクスプローラ」の画面が使われているので「ネットスケープではどうやって設定するんですか？」という質問も寄せられますが、例えば「yahoo」のホームページが「インターネットエクスプローラ」でも「ネットスケープ」でも見ることができるように、BBルータの設定画面も問題なく「ネットスケープ」で表示することができます。

Q IPアドレスってなんですか？

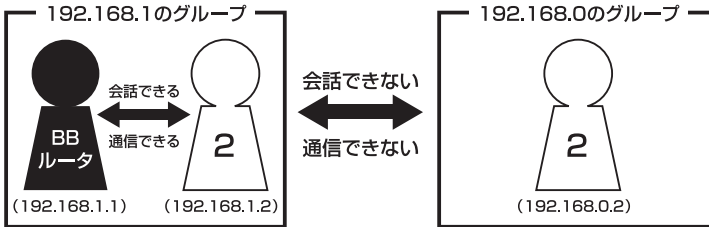
A TCP/IPプロトコルを使ったネットワークにおいて、コンピュータごとに割り当てられる個別の数字のことを言います。

数字がちょっと変わるだけでアクセスできなくなったりする厄介なイメージがあると思いますが、簡単に考えるなら「学校のクラスと出席番号」に置き換えて考えると判り易いかと思います。

例えばA君とB君とC君がいて、A君とB君は「1-1」組でC君が「1-2」組の場合、A君とB君は同じ教室なのでいつでも話をすることができますが、C君は教室が別なのでA君達とは会えません。IPアドレスもほとんどそれと同じような理屈になっています。

実際のIPアドレスで例えるなら、BBルータのIPアドレスは出荷時には「192.168.1.1」というIPアドレスが設定されています。これは、BBルータ君は「192.168.1」組の出席番号「1」番という意味になります。このBBルータ君と話をするにはコンピュータも「192.168.1」組に入らないと教室が別になるので話ができません。

BBルータにアクセスするコンピュータのIPアドレスが「192.168.1.2」であれば「192.168.1」組の出席番号「2」番になるので、そのコンピュータはBBルータ君と話をすることができます。
もしコンピュータのIPアドレスが「192.168.0.2」だと、そのコンピュータは「192.168.0」組になるためBBルータ君とは教室が別になり、BBルータ君と話をすることができません。

つまり、BBルータにアクセスするにはコンピュータのIPアドレスが「192.168.1.**」という数字でなくてはならないのです。

上記の説明で「出席番号が同じになるとどうなるの？」という疑問を持った方もいると思います。
もし同じ出席番号の人が同じ教室に2人いたら混乱しますね？ ネットワークもそれと同じで、IPアドレスは重複してはいけないようになっています。
同じ番号のコンピュータが存在した場合、「その番号を使っている人が他にいますよ」という内容の警告メッセージがコンピュータ上に表示されます。

ここまで読んでいただいた方はもうお判りだと思いますが、IPアドレス「AA.BB.CC.DD」の3つ目（CC）までがネットワークのグループを表していて、最後の数字（DD）がコンピュータごとに設定される個別の数字ということになります。

補足

厳密にはもっと色々なルールがあるのですが、BBルータの設定画面にアクセスするには少なくとも上記レベルのルールが判っていれば、トラブルに遭った時の対処や問題の切り分けに役立つと思います。

2 設定画面

ここではBBルータの設定画面にうまくアクセスできない場合の主な確認点及び確認方法をまとめました。ご利用のコンピュータに該当する項目がないかチェックしてください。

Q 設定画面にアクセスできないのですが?

A LANランプ、IPアドレス、プロキシ、セキュリティソフトそれぞれの項目が正しく設定されていないとアクセスできません。もう一度設定を確認してみてください。
また、BBルータとの通信が正常に行われていない可能性もあります。これはpingというコマンドを使って確認することができます。

LANランプ

LANランプは点灯していますか?

コンピュータが接続されて正常に通信ができる状態になると「LINK」と言われるランプが点灯します。
BBルータには「LAN」「Link/Act」「LAN LINK」等の名称で呼ばれるランプがついていますので、そのランプが点灯しているか確認してください。(詳しくはマニュアル第1章 4の「各部の名称」をご覧ください)。

・点灯しない場合
ランプが点灯していない場合、BBルータとコンピュータは通信できる状態になっていませんので、設定画面にもアクセスできません。
いくつか原因は考えられますが、まずはケーブルを交換してみてください。
正常にランプが点灯しているポートで使用中の、他のケーブルを使って接続してみてください。
ケーブル交換の後、正常にランプが点灯するようであれば、交換前に使用していたケーブルに問題がある(断線やクロスケーブルなど)ということになります。

IPアドレス

IPアドレスが正しく取得できていますか?

アクセスできない場合は、取得しているIPアドレスを確認してください。
BBルータには「192.168.1.1」というIPアドレスが出荷時に設定されており、BBルータにアクセスするにはコンピュータが「192.168.1.**」というIPアドレスを取得している必要があります(最後の「**」には任意の数字が入ります)。
異なるIPアドレス(210.119.**.**等)を取得している場合はBBルータの設定画面にはアクセスできません。

・確認方法
主なOSでの確認方法は以下のようになりますので、取得しているIPアドレスの確認を行ってください。

Windows® 95/98/MEの場合:
1.「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択、「名前」→「WINIPCFG」と入力→「OK」をクリックしてください。

2.「IP設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLANカードに変更してください。

3.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください(**には任意の数字が入ります)。

Windows® 2000/XPの場合:
1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」を開き、「コマンドプロンプト」を選択してください。

2.キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG」と入力し、Enterキーを押してください。

3.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください(**には任意の数字が入ります)。

Macintosh® の場合:
1.アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を開いてください。

2.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください(**には任意の数字が入ります)。

・まったく違うIPアドレスを取得している場合（Windows® のみ）

確認したIPアドレスが「192.168.1.**」ではなく、まったく違うIPアドレスを取得している場合、以下の方法で取得しているIPアドレスを開放して、再度IPアドレスを取得しなおすことができます。

Windows® 95/98/MEの場合：

1.「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択、「名前」→「WINIPCFG」と入力→「OK」をクリックしてください。

2.「IP設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLANカードに変更→「すべて開放」ボタンをクリックしてください。

3.「IPアドレス」が「0.0.0.0」になったのを確認してから「すべて書き換え」ボタンをクリックしてください。

4.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されていれば正しく取得できたことになります（**には任意の数字が入ります）。

Windows® 2000/XPの場合：

1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」を開き、「コマンドプロンプト」を選択してください。

2.キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG /RELEASE」と入力し、＜Enter＞キーを押してください。

3.「RENEW」と入力し、＜Enter＞キーを押して下さい。

4.「IPCONFIG」と入力し、＜Enter＞キーを押してください。

5.「IPアドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されていれば、正しく取得できたことになります（**には任意の数字が入ります）。

ping

BBルータと正常に通信していますか？

・接続確認方法（Windows® のみ）
BBルータと通信できているかどうかは「ping」というコマンドで確認することができます。

Windows® 95/98/98SEの場合：
1.「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」を選択、「MS-DOSプロンプト」のウインドウが開きます。

2.ウインドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。

3.「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されると思います。
「Reply from　192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

Windows® MEの場合：
1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」を選択、「MS-DOSプロンプト」のウインドウが開きます。

2.ウインドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。

3.「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されると思います。「Reply from　192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

Windows® 2000/XPの場合：
1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選択、「コマンドプロンプト」のウインドウが開きます。

2.ウインドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnterキーを押してください。

3.「Pinging 192.168.1.1 with・・・」というメッセージに続いて、その後連続4回同じメッセージが表示されると思います。「Reply from　192.168.1.1・・・」というメッセージが返ってきていれば正常です。

・応答が「Request Timed Out」になる

「ping 192.168.1.1」と実行した時「Request Timed Out」と表示される場合は、IPアドレスが正しく取得できていないか、コンピュータのLANアダプタが正常に動作していない可能性が考えられます。

1. IPアドレスが正しく取得できているか確認してください。「IPアドレスが正しく取得できているか」に確認方法が記載されています。

2. LANアダプタが正常に動作しているか確認してください。確認方法はモデムに直接接続してインターネットにアクセスできれば正常です。

ブラウザのプロキシ（PROXY）設定

不要な設定をしていませんか？

ブラウザのプロキシになんらかの設定が行われていると、アドレスに指定された所に接続する前に、プロキシで設定した所に接続しようとしてしまうため、設定画面にアクセスできない場合があります。その場合は以下のような手順でプロキシの設定を解除してください。

インターネットエクスプローラの場合（5.0以降）

1.メニューの「ツール」→「インターネットオプション」を選んでください。

2.「接続」タブをクリック→「LANの設定」ボタンをクリックしてください。

3.「自動設定」と「プロキシサーバ」のチェックボックスでチェックされている項目がありましたら、全ての項目のチェックを外してください。

4.「OK」ボタンをクリック→「ローカルエリアネットワークの設定」ウインドウを閉じてください。

5.再度「OK」ボタンをクリック→「インターネットオプション」ウインドウを閉じてください。

6.一度インターネットエクスプローラを終了させてから再度起動し、再度BBルータの設定画面にアクセスできるか試してください。

ネットスケープの場合

1.メニューの「編集」→「設定」を選択してください。

2.「詳細」→「プロキシ」を選択、「インターネットに直接接続する」をチェックしてください。

3.「OK」ボタンをクリック→ウインドウを閉じてください。

4.一度ネットスケープを終了させてから再度起動し、再度BBルータの設定画面にアクセスできるか試してください。

セキュリティ関連ソフトの影響

ウイルスバスターやノートンアンチウイルス等、最近のウイルスチェックソフトには簡易ファイヤウォールという機能を搭載した物が増えています。

ファイヤウォールはアクセス許可をしていないIPアドレスからのパケット(通信)を遮断したりする機能です。

有効になっていると稀にBBルータとの接続時にファイヤウォール機能が働いて設定画面がうまく表示されない事や、設定内容を保存するとエラーになること等があります。
ウイルスチェックソフトやインターネットセキュリティソフトをご使用になられている場合は、それらのソフトを停止させてみてください。停止方法が判らない場合は、各ソフトウエアのマニュアルをご覧ください。

3 インターネットにアクセスできない

ここではBBルータの設定を行ってもインターネットへのアクセスができない場合の、主な確認点及び確認方法をまとめました。
接続方法別にまとめてありますので該当する項目がないかチェックしてください。
設定画面にアクセスができない場合は、106ページ「設定画面にアクセスできないのですが？」をご覧ください。

共通項目　事前確認編

どの接続方法にも共通する、最初に確認すべき点です。

Q 設定画面ではすべて正しく設定できたのですが、なぜインターネットにアクセスできないのでしょうか？

A BBルータが正しく接続されていないと通信が行われないので、インターネットにはアクセスできません。以下を確認してください。

WANランプ

WANランプは点灯していますか？

BBルータとモデムを接続して正常に通信ができる状態になると、BBルータの「WAN」のランプが点灯します。

・点灯しない場合

「WAN」のランプが点灯しない場合は、モデムと正常に接続していないことを表しますので、その状態ではインターネットに接続することができません。

本製品は「Auto-MDI/MDI-X」に対応しているので、ケーブルの種類（ストレート/クロス）の違いは関係なくなります。
ポートにケーブルのコネクタが正しく挿さっているか再度確認してください。
それでも、点灯しない場合は使用しているLANケーブルを変えてみる必要があります。

接続設定フレッツ編

ここではNTT提供のフレッツ・ADSL、Bフレッツ等のようなフレッツ接続ツールを利用してインターネットにアクセスする場合の、インターネット接続に関する主な確認点をまとめました。
接続ツール等を使わない場合は101ページ「接続設定ケーブルTV、Yahoo!BB編」をご覧ください。

Q インターネットへの接続や切断はどうするの？

A BBルータが回線の状態を検知し、自動的に接続・切断を行います。

NTT「フレッツ」を利用されているほとんどの方が、NTTのフレッツ接続ツールを使ってインターネットに接続し､アクセスをやめる時は切断処理をしていたと思いますが、「BBルータを使う場合はどうやって接続するの？」という疑問をもたれる方もいると思います。

BBルータ使用の場合、コンピュータがインターネットへ接続しようとすると、そのコンピュータはBBルータに接続のための信号を送信します。
BBルータはその信号を受信すると、回線が切断状態の時には自動的に接続を開始します。そして、一定時間インターネットへの接続が発生しない場合、自動的に切断を行うようになっています。

つまり、ユーザーは接続や切断を意識することなく、インターネットへアクセスできるのです。

注意

上記の動作は出荷時の設定で使用した場合になります。設定内容によっては上記のような動作にならない場合もありますのでご注意ください。

Q 今までフレッツ接続ツールを使っていたのですが、BBルータを設置した場合にインターネット接続する時の確認点はなんですか?

A ユーザID、パスワード、PPPoE設定・接続、接続ツールなどです。

ユーザID、パスワード

ユーザIDとパスワードに間違いはないですか？

フレッツ接続の場合、接続のためにユーザーID（ログインID）とパスワード（ログインパスワード）をBBルータに設定しますが、その入力を間違えると正常に接続できません。
入力ミスは意外と多く、再度入力し直すと接続できることが度々ありますので、入力した内容に間違いがないか、今一度確認してください。
「1（いち）」⇔「l（エル）」、「0（ゼロ）」⇔「O（オー）」の間違いなど。

フレッツの場合は「@」以降の入力が必須です

フレッツ・ADSLやBフレッツの場合は、ユーザID（ログインID）やパスワード（ログインパスワード）の入力が必須です。
特に注意すべき点として、ユーザIDの設定ではご利用になるプロバイダごとに、ユーザIDの後ろに「@****.ne.jp」というような設定入力が必要です。

プロバイダからの接続資料にはユーザIDの表記で「@」以降の部分が記載されていない場合もあります。
その場合はNTTからのフレッツ接続資料の中に、プロバイダ別のドメイン名リストがありますので、そちらで「@」以降の表記をご確認ください。

PPPoE設定

PPPoE接続の結果を確認してください。

BBルータにより確認方法が異なってくるため詳細は割愛しますが、PPPoEの接続設定の後には接続確認が大抵の場合行われます。
「接続診断」という機能を持ったBBルータの場合は、その機能を使って接続結果が良好かどうかを確認してください。
設定の最後で自動的に接続し、その結果を画面上に表示するタイプのBBルータの場合、接続に成功したというメッセージが表示されるか確認してください。

・接続テストの結果、接続できなかったという場合

「PADI-TIMEOUT」や「サーバからの応答 NG」等になる時は、PPPoE設定の「ユーザID」の設定が正しくても接続できないことがあります。
その場合、モデム・BBルータ・コンピュータの電源をそれぞれ切り、電源を切ったままの状態で30～60分ほどそのままにしておいてください。
30～60分ほど経過しましたらモデム→BBルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

フレッツ接続ツール

フレッツ接続ツールは使いません

BBルータを使用する場合は本編冒頭の「インターネットへの接続や切断はどうするの？」にも書きましたように、フレッツ接続ツールは使用しません。
もし現在、BBルータの設定後にフレッツ接続ツールを起動してインターネットへの接続をしている場合は、フレッツ接続ツールは使用せずにブラウザを起動して、インターネットに接続できるか確認してください。
正しく接続設定が行われていれば、フレッツ接続ツールを使用しないで接続できます。

・PPPoE接続だけど接続ツールを使わない場合の設定は？

ADSL回線でPPPoE接続だが、モデムにコンピュータを接続してインターネットにアクセスする際、接続ツール等を使用しないという場合は、ご利用のモデムにBBルータ機能がついている可能性が考えられます。その場合は「PPPoE接続」ではありませんので、「ルータ機能付きモデムをご利用の場合」を参考に設定を行ってください。

ルータ機能付きモデムをご利用の場合

プロバイダから提供されるモデムにルータ機能がついている場合があります。その場合複数のコンピュータで利用するときは、ハブがあればアクセスできるため本来BBルータは必要ありません。
しかし、どうしてもBBルータを使用したいという場合は、BBルータのIPアドレスを変更することで利用可能になります。
*BBルータのIPアドレスは本冊子の冒頭でも触れているように「192.168.1.1」になります。もし、ご利用のモデムも同じく「192.168.1.1」というIPアドレスを持っていて、しかも設定画面にアクセスした時にモデムの設定が行えるようだと、BBルータのWAN側とLAN側が同じようなアドレス（192.168.1.**）になってしまい、BBルータが混乱して正常な動作ができなくなります。*
*ハブではなくBBルータを使用したい場合はBBルータのLAN側のIPアドレスを、「192.168.2.**」等のようにWAN側のIPとは別のアドレスに変更すれば、接続できるようになります。*

接続設定ケーブルTV、Yahoo!® BB編

Q ケーブルTVインターネットやYahoo!® BBを利用した場合に、インターネット接続する時の確認点はなんですか?

A IPアドレスの取得、ケーブルTVインターネットの場合はケーブルの接続方法にもご注意ください。

IPアドレスの取得

・ケーブルTVやYahoo!® BBをご利用の場合
ケーブルTVやYahoo!® BBを利用する場合は「通常接続(DHCP接続)」という方式で接続を行います。
各BBルータのマニュアルをご覧いただくと判るかと思いますが、この場合設定らしい設定はほとんど必要ありません。
インターネットに接続するには、BBルータがプロバイダからIPアドレスを取得しなければいけませんので、BBルータのWAN側ポートにIPアドレスが表示されているか確認してください。
確認方法はBBルータによって画面が異なりますので詳細は割愛しますが、「ステータス表示」や「アカウント管理」の画面で確認することができます。

ケーブルの接続
WAN側ポートにIPアドレスが割り当てられない時
ケーブルTV等を利用したPPPoE以外のインターネット接続方法の場合、BBルータを接続する前まではコンピュータをモデムに接続して利用していることが多いと思います。
ケーブルをモデムから外してそのままBBルータに接続してしまうと、本来BBルータに割り当てられるはずのIPアドレスをコンピュータが持ったままになってしまい、BBルータがモデムからIPアドレスを正しく取得できないことがあります。
その場合はコンピュータを再度モデムに接続しなおしていただき、一度コンピュータを終了させる処理を行ってください。
モデム接続後にコンピュータを終了させれば、通常は取得したIPアドレスは開放されます。コンピュータの電源が切れたらモデムとBBルータを接続し、モデム→BBルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

・それでも接続できない場合

モデムにコンピュータを接続した後、一旦終了させてからモデムとBBルータを接続し、電源を入れなおしてもインターネットに接続できない場合は、モデム・BBルータ・コンピュータの電源をそれぞれ切り、電源を切ったままの状態で60分ほどそのままにしておいてください。
モデムを含めた全ての機器の電源を長時間切ることによって、プロバイダ側のサーバが記憶している情報が削除されて、初めて接続した時のような状態で接続することができます。60分ほど経過しましたらモデム→BBルータ→コンピュータの順番に電源を入れてください。

共通項目　最終確認編

どの接続方法にも共通する、最後に確認すべき点です。

Q 事前確認、接続設定と確認して問題がなかったのですが、それでもアクセスできません。ほかに確認点はありますか?

A コンピュータのIPアドレスが自動取得である事と、DNSサーバアドレスの設定を再確認してください。

自動取得

コンピュータのIPアドレスは自動取得になっていますか？

コンピュータのIPアドレスを手動で設定する場合、正しく設定されていないと設定画面にはアクセスできてもインターネットにアクセスできないことがあります。
手動設定の場合の注意点は次ページ「IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は？」を参照していただき、コンピュータのIPアドレスが正しく自動取得になっているか、マニュアルを再度確認してください。

DNSサーバアドレス

IPアドレスでホームページにアクセスしてみてください。

ブラウザのアドレスに「http://210.197.75.205」と入力してEnterキーを押していただき、弊社（プラネックス）のホームページが表示されるか確認してください。
「http://210.197.75.205」だとアクセスできて「http://www.planex.co.jp」だとアクセスできない場合は、DNSサーバアドレスが正しく設定できていない可能性が考えられます。次ページ「IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は?」を参考に設定を行ってください。

4 その他　よくあるお問い合わせについて

ここでは、多数寄せられる質問について、いくつかまとめてみました。

Q IPアドレスを手動で設定する場合の注意点は？

A IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレスが正しく設定されているか再確認してください。

IPアドレスの基本的なルールは冒頭の「IPアドレスってなんですか？」の中で触れていますが、設定画面にアクセスする場合に必要な最低限の説明だけなので、インターネットに接続する場合の設定については不十分になっています。手動でIPアドレスを設定する場合の注意点は以下のようになります。

IPアドレス：
IPアドレスの設定については88ページ「IPアドレスってなんですか？」をご覧ください。

サブネットマスク：
通常は「255.255.255.0」と指定してください。

デフォルトゲートウエイ：
（Mac® OSでは「ルータアドレス」と言います）
BBルータのIPアドレスが入ります。出荷時の設定は「192.168.1.1」になります。ここが正しく設定されていないとインターネットには接続できません。

DNSサーバアドレス：
（Mac® OSでは「ネームサーバアドレス」と言います）
ご利用になっているプロバイダのDNSサーバアドレスを入力してください。
BBルータによっては「デフォルトゲートウエイ」と同じIPアドレスで問題ない場合もありますが、判らない場合はプロバイダ指定のDNSサーバアドレスを設定するのが確実です。
ここが正しく設定されていないと「www.planex.co.jp」という名前（ドメイン名）でホームページにアクセスできなくなります。

Q BBルータに接続しているコンピュータ同士の通信ができません。

A pingを打って通信確認ができれば、BBルータの問題ではありません。OS側の設定の問題だと思われます。

インターネットへの接続は問題ないのに、コンピュータ同士のファイル共有等ができないという問い合わせも良く寄せられます。コンピュータ同士のLAN接続について、基本的にBBルータは関与しておりません。

BBルータの通信確認

コンピュータ同士が本当にアクセスできていないのか確認する方法として、90ページ「設定画面にアクセスできないのですが？」の中に、取得しているIPアドレスを確認する方法と、指定のIPアドレスにpingを打つ方法を紹介していますので、そちらを参考にそれぞれのコンピュータが取得しているIPアドレスを確認して、相手のコンピュータに対してpingを打ってみてください。
「Reply from・・・」が帰ってくればコンピュータ同士の接続は問題なくできていることになりますので、ファイル共有等ができないのはBBルータの問題ではなくOS側の設定の問題ということになります。

OS側の要因

pingの結果が「Request timed out」だったり、pingが通っても接続できない場合に考えられる一つの要因として、ファイヤウォールソフトの存在が挙げられます。
ウイルスチェックソフトやインターネットセキュリティのソフトには、簡易ファイヤウォール機能を有している物があります。
使用しているコンピュータにそれらのソフトをインストールしている場合、ファイヤウォールが有効になっていると、たとえ自宅の中の同じネットワーク上のコンピュータであっても、ファイヤウォールから見ると第三者がそのコンピュータにアクセスしているように映るため、アクセスされないように遮断してしまいます。

該当するようなソフトを利用されている場合は、それらのソフトを停止させた状態で再度pingコマンドを打ち、通信状態を確認してみてください。
停止させるとpingが通るような場合は、それらソフトのファイヤウォールに他のコンピュータのIPアドレスを設定し、信頼するコンピュータとして認識させることで、ファイヤウォールを有効にしながらファイル共有ができるようになります。

Q コンピュータの電源をOFFにしたのに、BBルータのLANのランプがついたままですが故障でしょうか？

A 故障ではありません。「Wake On Lan」機能によるものです。

最近のLANアダプタには「Wake On Lan（以下WOL）」という、他のコンピュータから電源をON/OFF操作するための機能がついている物が多くなっています。
「WOL」に対応したLANアダプタでその機能が有効になっている場合、電源ONの信号を受信できるように待機状態になっている必要があるため、コンピュータ自体の電源はOFFになっていても、LANアダプタはBBルータのハブとLINKした（LANのランプが点灯した）状態になります。つまりBBルータ側ではどうすることもできません。
消えるようにするには「WOL」の機能をOFFにする必要がありますので、ご使用のLANアダプタのメーカーか、あるいは標準でコンピュータに搭載されているLANアダプタの場合はコンピュータメーカーに機能を無効にする手順をお問い合わせください。

設置環境への注意

ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信をおこなうには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響（＊が多いほど、影響が大きいことを表します。）	具体例
空気	＊	ー
木材	＊＊	木材の仕切り
石膏	＊＊	仕切り壁
合成素材	＊＊	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	＊＊	天井
ガラス	＊＊	窓ガラス
水	＊＊＊	湿った木材
煉瓦	＊＊＊	煉瓦壁
大理石	＊＊＊＊	石壁
セメント コンクリート	＊＊＊＊	床、壁
防弾ガラス	＊＊＊＊	哨舎
鉄	＊＊＊＊＊	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

仕様

<table>
<tr><td colspan="2">品名</td><td>108Mbps無線LANブロードバンドルータ</td></tr>
<tr><td colspan="2">型番</td><td>BRC-W108G</td></tr>
<tr><td rowspan="13">無線部仕様</td><td>対応規格</td><td>IEEE802.11b、IEEE802.11g</td></tr>
<tr><td>チャンネル数</td><td>IEEE802.11b:14（1～14ch）
IEEE802.11g:13（1～13ch）</td></tr>
<tr><td>周波数（中心周波数）</td><td>IEEE802.11b:2.4GHz帯（2,412～2,484MHz）
IEEE802.11g:2.4GHz帯（2,412～2,472MHz）</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td>Airgo True MIMO :108/96/72Mbps 自動認識
IEEE802.11b:11、5.5、2、1Mbps
IEEE802.11g:54、48、36、24、18、12、9、6Mbps</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>Airgo True MIMO:直交波周波数分割多重変調（MIMO-OFDM方式）
IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散（DSSS方式）
IEEE802.11g:直交波周波数分割多重変調（OFDM方式）</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td>ダイポールアンテナ</td></tr>
<tr><td>アクセス方式</td><td>インフラストラクチャモード</td></tr>
<tr><td>ローミング機能</td><td>対応</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td>WEP（64/128bit）
WPA（暗号化方式:TKIP/AES、認証方式:IEEE802.1X）
WPA-PSK（暗号化方式:TKIP/AES、認証方式:PSK）
外部RADIUS対応
SSID通知（有効/無効）
MACアドレスフィルタリング（許可/拒否）/推奨最大登録数:30</td></tr>
<tr><td>高速化技術</td><td>Airgo True MIMO</td></tr>
<tr><td>長距離化技術</td><td>Airgo True MIMO</td></tr>
<tr><td rowspan="5">有線部仕様
（WAN側）</td><td>対応規格</td><td>IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）</td></tr>
<tr><td>ポート数</td><td>1ポート（AutoMDI/MDI-X対応）</td></tr>
<tr><td>コネクタ形状</td><td>RJ-45コネクタ</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td>10/100Mbps（オートネゴシエーション）</td></tr>
<tr><td>ネットワークケーブル</td><td>UTP/STP LANケーブル
10Mbps:カテゴリ3以上、100Mbps:カテゴリ5以上</td></tr>
<tr><td rowspan="5">有線部仕様
（LAN側）</td><td>対応規格</td><td>IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）</td></tr>
<tr><td>ポート数</td><td>4ポート（AutoMDI/MDI-X対応）</td></tr>
<tr><td>コネクタ形状</td><td>RJ-45コネクタ</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td>10/100Mbps（オートネゴシエーション）</td></tr>
<tr><td>ネットワークケーブル</td><td>UTP/STP LANケーブル
10Mbps:カテゴリ3以上、100Mbps:カテゴリ5以上</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="24">ルータ機能</td><td>対応WAN回線</td><td>ADSL、FTTH、VDSL、CATV</td></tr>
<tr><td>WAN設定</td><td>IPアドレス自動取得（DHCPクライアント）
固定IPアドレス（手動設定）
PPPoE クライアント設定
PPPoE IP固定設定
PPPoE マルチセッション（最大4セッション）
PPPoE ブリッジ
複数固定IP設定（IP Unnumbered設定）
MTU設定</td></tr>
<tr><td>LAN設定</td><td>固定IPアドレス（手動設定）
DHCPサーバ（有効/無効）</td></tr>
<tr><td>ルーティングプロトコル</td><td>IP</td></tr>
<tr><td>ルーティング機能</td><td>ダイナミックルーティング、スタティックルーティング（RIPv1/RIPv2）</td></tr>
<tr><td>IPv6</td><td>ブリッジ設定</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td>SPIファイアウォール（3段階のセキュリティ設定）
パケットフィルタリング
サイトフィルタリング</td></tr>
<tr><td>アドレス変換</td><td>NAPT</td></tr>
<tr><td>ローカルサーバ機能</td><td>ポートフォワード、仮想DMZ</td></tr>
<tr><td>VPNパススルー</td><td>IPSec、PPTP</td></tr>
<tr><td>VPNゲートウェイ</td><td>IPSec（50トンネル）、PPTPサーバ（32トンネル）、PPTPクライアント</td></tr>
<tr><td>UPnP</td><td>UPnP Forum Internet Gateway Device v1.0準拠</td></tr>
<tr><td>ダイナミックDNS</td><td>DynDNS.org（英語）、DynamicDO!（日本語）、MyDNS（日本語）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">ハードウェア仕様</td><td>LED</td><td>Power（1）、WAN（1）、LAN（4）、100M（4）、WLAN（1）</td></tr>
<tr><td>電源</td><td>DC12V</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>最大7.2W</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td>32（W）×184（H）×150（D）mm（アンテナ部除く）</td></tr>
<tr><td>重量</td><td>950g（本体のみ）</td></tr>
<tr><td>動作時環境</td><td>温度：0～40℃
湿度：15～85%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>保存時環境</td><td>温度：-20～70℃
湿度：5～90%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>取得承認規格</td><td>VCCI Class B</td></tr>
</table>

その他	SNMP	v1/v2
	ログ機能	Syslogサーバ設定、セキュリティログ、ログメール機能
	システム診断機能	Ping、Traceroute
	WAN側リモート設定	ポート80または8080から選択
	対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE、MacOS X以上（日本語版）
	各種設定方法	WEBブラウザ
	保証期間	1年間

■注意事項

※IEEE802.1Xは、外部RADIUSサーバが別途必要です。

※PPTP設定時のトンネル数は、PPPoEのセッション数も含めての数値となります。

※IPv6ブリッジ利用時の動作確認サービスは、フレッツドットネットとなります。（動作を保証するものではありません。）

※WEBブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。

※Airgo True MIMOによる高速通信を使用するには、クライアント側の無線LAN機器もAirgo True MIMOに対応している必要があります。

※WPAを利用するためには、クライアント側の無線LAN機器もWPAに対応している必要があります。

※表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ（http:.//www.planex.co.jp）を参照ください

ユーザ登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザ登録をお願いしております。ユーザ登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザサポートをお受けになるにはお客様のユーザ登録が必要となります。ユーザ登録の際は、ホームページ掲載の「個人情報保護方針について」をご確認後、ユーザ登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザ登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPLANEX DIRECTまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PLANEX DIRECT〉
http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉
http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24時間
〈電話〉
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10～12時、13～17時
＊祝祭日および弊社指定の休業日を除く
〈FAX〉
ファクス番号：03-5766-1615
受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。

- 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）
- ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
- ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ
http://www.planex.co.jp/

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5766-1615

送信日 : ＿＿＿＿＿＿＿＿

会社名			
部署名			
名前			
電　話		ＦＡＸ	
E-MAIL			

製品名 Product name	108Mbps無線LANブロードバンドルータ
型番 Product No.	**BRC-W108G**
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② OS

OS	バージョン

③ 質問内容